

エクアドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	237,246	143	47,235	21	39,236	15	34,700	18	32,739	17	32,109	16	423,265	230
専 門 家	379,177	59	61,809	9	57,675	2	67,422	6	34,799	1	59,425	5	660,307	82
調 査 団	197,137	67	166,840	36	321,896	47	58,346	29	86,573	38	353,152	58	1,183,944	275
協 力 隊	-		-		-		-		-		-		-	
機 材 供 与	302,528		45,617		55,519		30,769		44,673		25,892		504,998	
そ の 他	13,258		6,384		8,021		5,896		6,482		11,959		52,000	
合 計	1,129,346		327,885		482,347		197,133		205,266		482,537		2,824,514	

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 計 算 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	250	9	7		29	7	47	15	1		23	7	6	25	12	4	1		36		1	423,265
専 門 家	82			1	2		6	7				12	9	9			4		30		2	660,307
調 査 団	275				62	14		53	9	22	12	3	18	49					33			1,183,944
協 力 隊																						-
機 材 供 与																						504,998
そ の 他																						52,000
合 計																						2,824,514

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
35年度	1					1																
36 "	1	1																				
37 "	3				1						2											
38 "	(1) 2				1	(1)								1								
39 "	1					1																1,231
40 "	5				1			2	1		1											4,337
41 "	(1) 6	1			(1)			2			2			1								6,511
42 "	3				1						2											3,387
43 "	4	1						1						2								3,589
44 "	6	1			1		1							3								3,742
45 "	10				1			2			2	2		1	1						1	9,721
46 "	7				1		1				1	3	1									9,466
47 "	8	1			1						2	1		1	1	1						10,308
48 "	6				2		1				1			1			1					9,178
49 "	8		1		2		2				2			1								13,603
50 "	11		1		1		3							1	4	1						15,511
51 "	11		1		2	1	1	1						3	1	1						19,672
52 "	11		2		2		1							1	1	1	1			2		23,594
53 "	11		1		1		1				2			1	2					3		23,519
54 "	13	2			2		4								2					3		35,700
55 "	15		1		1		6	2						1	1					3		39,022
56 "	21	1			1	1	3	5			3			1		1				5		47,235
57 "	15	1			3		6								1					4		39,236
58 "	18					2	7							2	1					6		34,700
59 "	17				2		6				3	1								5		32,739
60 "	16				2	1	4							3	1					5		32,109
合計	(2) 230	9	7		(1) 29	(1) 7	47	15	1		26	8	6	25	12	4	1			36	1	423,265

エクアドル

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

エ ク ス ア ド ル	分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)		
			開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
36年度	1							1																	
37 "	1							1																	7,981
38 "	1				1																				
39 "	1													1											5,051
40 "	1													1											3,509
41 "																									2,973
42 "	5													4	1										9,968
43 "	6													6											18,699
44 "																									8,333
45 "	3														2								1		5,495
46 "																									14,031
47 "	2														1								1		14,455
48 "																									18,280
49 "	(1) 1				1									(1)											3,886
50 "	2														2										19,217
51 "	2													2											23,930
52 "	4													4											47,798
53 "	4													3	1										37,546
54 "	1							1																	40,499
55 "	3														1										37,635
56 "	1																								51,405
57 "	0																								37,001
58 "	1																								24,016
59 "	1																								32,841
60 "	3				1										1										62,285
合計	(1) 44				1	2		6	3					12	(1) 9	9								2	526,832

(注) カッコは国際機関専門家以外教である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
57年度																							577
58 "																							
59 "																							488
合 計																							1,065

エクアドル

(一般の技術協力に係る機材供与)  
単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	自動車整備測定用機材	自動車整備工場	47	4,465
2	土質試験機材	電力公社	51	5,749
3	農業開発策定用機材	農政省地域農業国家計画局	56	35,483
4	訓練用通信システム	電気通信公社	59	37,670
計	4 件			83,367

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業

エ  
ク  
ア  
ド  
ル

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数 継続 新規	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)			
微生物病研究対策 Research of Microbi- al Control 協定等の種類：R/D 協力期間： (当初) 52.4.1～57.3.31 (フォローアップ) 57.4.1～59.3.31 相手国機関： 国立衛生研究所 国内協力機関： 東北大学医学部	エクアドル政府は、昭和50年6月、野 口英世博士生誕100年の記念事業の一環と して、公衆衛生省の熱帯病研究に対する 協力をわが国に要請した。 これに応えわが国は、昭和51年4月に 事前調査団を派遣し、本プロジェクト実施 の可能性につき調査した。 その結果、協力対象機関となる国立衛生 研究所の人材、技術水準等を考慮し、電子 顕微鏡学、ウイルス学、細菌学の分野を中 心とした微生物研究をプロジェクト化する ことが最も効率的な医療協力を実施するも のと判断され、昭和52年4月討議議事録 のとりまとめを終わり、向こう5カ年間にわ たる医療協力が開始された。 協力内容は、同国グアヤキル市にある国 立衛生研究所に対し、ウイルス、寄生虫病 学分野を中心とする熱帯病研究、特に免疫 学、電子顕微鏡学、疫学等の技術の向上を 図ろうとするものである。 昭和57年3月には、エバリュエーショ ン調査団を派遣して協力の成果について調 査し、今後の方針について協議した結果、 これまでに指導した技術の精度を高めると ともに技術を定着させるに必要であるとし て2年間のフォローアップ協力を実施する こととなった。	50	事前調査	51.3.28～ 51.4.21	(5)	(3,096)					(3,096)		
		51	実施調査	51.10.28～ 51.11.12	4	4,343						4,343	
		52				196		3	5,259	透過型電子顕 微鏡	① 1,516 ② 105,905	112,876	
		53						1	5	28,294	走査顕微鏡, 遠心器	① 244 ② 66,867	97,601
		54	計画打合せ	55.3.9～ 55.3.23	3	2,994	2	6	25,386	ガスクロマトグ ラフ, 乾燥器	① 897 ② 33,645	62,922	
		55	同上報告 書作成			① 210						71,767	
		56	機材修理	56.7.22～ 56.8.6	4	① 466 ② 5,567					① 3,589 ② 47,215	27,034	
		57	同上報告 書作成	57.3.10～ 57.3.26	4	① 355 ② 4,411	1	5	12,355		① 3,362 ② 538	76,434	
		58	機材修理	59.1.29～ 59.2.19	5	8,126	2	3	44,141		① 11,142 ② 44,267	85,179	
		59	同上報告 書作成	59.3.18～ 59.3.31	4	① 109 ② 4,567					① 996 ② 1,706	8,896	

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)																
			調査の 種 類	調査期間	人 数	経 費 (千円)	人 数 継続 新規	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)																	
	[カウンターパート受入実績] <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>52</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td colspan="3">9</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	52	53	54	55	56	57	58	人数	9			3	2	0	1										
年度	52	53	54	55	56	57	58																				
人数	9			3	2	0	1																				
消化器病研究対策 Research & Control of Gastroenteric Diseases 協定等の種類：R/D 署名年月日：60.8.26 協力期間： (当初) 61.1.1～65.12.31 相手国機関： 社会福祉省, IESS, カルロス・アンドラ ーデ・マリン病院内 消化器ガン診断セン ター 国内協力機関： 順天堂大学, 岩手医 科大学, 宮城県対ガ ン協会ガン検診セン ター	エクアドルでは、消化器系疾患による死 亡率が20%ときわめて高く、社会保障公社 は集団検診等を中心に消化器疾患の早期究 見、的確な診断、治療技術の向上を図りた いとして日本の世界でも進んだ技術に大き な期待をもっている。公社附属病院の一角 に消化器病研究センターを建設し、消化器 病診断技術のレベルアップを図るとともに、 全国的に技術を広げていく。 [カウンターパート受入] <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	60	人数	1	59	事前調査	60.1.1～ 60.1.11	5	520 5,286					5,806												
		年度	60																								
人数	1																										
		60	実施協議	60.8.18～ 60.8.29	4	4,847	0	2	2,134		6,981																

エクアドル

保健医療協力事業（大学教授）

エクアドル

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
消化器内科	(コロンビア, エクアドル) 中南米一般を参照のこと。	51						(2)	(1,255)		(1,255)	
		52							(137)		(137)	
循環器科学		56					-	3	2,939	① 1,344	4,283	
放射線診断		58					-	1	897	① 3	900	
消化器内科学		58					-	1	898		898	

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
農林業協力（水産） プロジェクト・ファイ ンディング	(エクアドル, パナマ, コスタ・リカ) 中南米一般を参照のこと。	59	事前調査	59.10.20 ~ 59.11.9	(3)	(671)					(671)	

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
1	アンデス・グループ多国籍海運基礎調査	(チリ, エクアドル, コロンビア) 中南米一般を参照のこと。	47	実施調査	47.11.21 ~ 47.12.22	(5)	(2,423)
2	グアヤス河橋梁架設計画調査	キト〜グアヤキル間, カーニャ〜アイラス両県を結ぶためグアヤス河に橋梁を架設するための調査。	37	投	37. 5. 6 ~ 37. 7. 16	6	5,352
3	コスタ地区(カタラマ川流域)農業開発計画調査	同国政府は, 大豆, メイズ, ソルゴー等の飼料用作物の国内需給の達成と主食である米の増産を図るため, コスタ地区ガイアス河流域の農業開発を策定するため, わが国に協力を要請してきた。同要請に基づき, 55年7月に派遣された事前調査団はガイアス河流域で現地踏査を実施し, その一支流であるカタラマ川流域のプエブロ, ビエッホ周辺 18,000 ha を選定した。  昭和56年度は, 昨年度中に終了しなかった地形図作成を対象地域4地区に分け, 各々の農業開発計画を策定し, 最終報告書案の作成および説明を行った。	55	事前調査	55. 7. 4 ~ 55. 7. 24	6	12,800
			"	実施調査	55.11.14 ~ 55.11.26	3	} 28,890
			"	実施調査	55.11.14 ~ 56. 1.13	5	
			"	実施調査	(技術費 報告書作成)	0	42,214
			"	実施調査	56. 9. 6 ~ 56.12. 5	17	} 45,579
"	実施調査	57. 4.10 ~ 57. 4.20	6				
4	漁業開発計画基本設計調査	同国政府の国家開発5カ年計画における漁業開発においては, 国民の食糧改善, 輸出振興, 零細漁民の生活確保と地域開発に主眼が置かれているが, この開発に関連して同国政府は, 内水面養殖と水産学校教育の資機材について無償資金協力を要請してきた。この要請に基づき, わが国は55年7月に基本設計調査チームを派遣し現地調査を実施するとともに報告書を作成し, 同国政府に提出した。	55	特	55. 7.31 ~ 55. 8.20	6	16,160
5	グアヤキル市都市交通計画調査	エクアドル国最大の人口を擁するグアヤキル市の都市交通問題を解決するため, 交通網整備計画を策定し, これに基づきF/Sを行うもので, 56年度は, 資料収集分析, 交通調査を行った。  57年度はフェイズIのうち, 前年度の現地作業結果に基づき国内解析作業を行い, ドラフト・ファイナル・レポートの作成を行った。  昭和58年度は前年度作成したドラフト・ファイナル・レポートに対するエクアドル国側のコメントを受け, ファイナル・レポートを作成し, 8月に提出した。	56	事前調査	56. 8.13 ~ 56. 8.29	6	5,486
			"	実施調査	57. 4.10 ~ 57. 9.28	9	61,886
			"	実施調査	58. 1.25 ~ 58. 2.18	7	83,026
			"	(報告書作成)			375
			"	実施調査	57. 4.14 ~ 57. 9.28	4	} 85,531
"		57. 8.30 ~ 57. 9.28	6				
"	実施調査	58. 5.23 ~ 58. 6. 6	8	26,806			
6	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ペルー, エクアドル, コロンビア, ホンデュラス, コスタリカ)	57	事前調査	57.11. 6 ~ 57.11.26	(5)	( 656)

エクアドル



エクアドル

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
7	零細漁民訓練計画	小規模沿岸漁業の振興を図るための訓練船供与に係る基本設計調査を実施した。	57	特	57.10.11 ~ 57.10.31	6	14,877
8	コスタ地区北部地図作成事業計画	58年に要請内容の確認, 対象地域の概査を行い, 地形図作成の対応方針を定めるコンタクト・ミッションの派遣を行った。 昭和59年6月に事前調査団を派遣し地形図作成の対応方針をエクアドル政府と協議したが, 同年12月同国より航空写真の持出しが禁じられている旨正式に通告があり, 本件プロジェクトの実施はとりやめとなった。	58	事前調査	58.11.21 ~ 58.12.5	6	6,169
			59	事前調査	59.6.1 ~ 59.7.7	8	16,213
9	グラヤキル市都市交通計画調査	エクアドル国最大の都市であるグラヤキル市の交通問題を解決することを目的とし, M/Pにおいて優先プロジェクトとされた鉄道の新設計画(南北線 13.5 Km)のF/Sを実施するものである。 59年度は昭和59年11月に事前調査団を派遣しS/Wを締結した。 60年度は前年度の事前調査に基づいて, 本格調査を開始した。	59	事前調査	59.11.3 ~ 59.11.17	5	159,500
			60	実施調査	60.10.2 ~ 60.11.30	20	
			"	実施調査	61.3.10 ~ 61.3.24	6	
10	北東部森林資源調査	北東部ナボ州のアマゾン地域 100万ha について航空写真を撮り, 集成写真図, 林相図等を作成すると共に, 重点地域 10万ha について森林資源調査を行い, 開発計画のガイドラインを策定するもので, 59年度は事前調査団を派遣しS/Wを締結した。 60年度は, 調査の基礎としての航空写真の撮影, 立木材積表の作成, 森林本格調査に必要な林相区分基準, 標本の設定法及び作業工程等を把握するための現地調査を実施した。	59	事前調査	59.9.25 ~ 59.10.13	7	62,279
			60	実施調査	60.7.1 ~ 60.11.4	7	
			"	実施調査	61.1.21 ~ 61.3.4	8	
11	経済技術協力評価調査	中南米一般を参照のこと。 (エクアドル, メキシコ, ベルー)	60	評価調査	61.2.19 ~ 61.3.2	(3)	(1,115)

海外開発計画事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選定確認調査	① (ブラジル, エクアドル, グアテマラ, メキシコ, ベルー) 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23 ~ 47.11.19	(2)	(422)
		② (エクアドル, グアテマラ, ベルー) 中南米一般を参照のこと。	48	海	48.11.18 ~ 48.12.3	(2)	(529)

No.	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
2	鉱物資源開発計画調査	マクチ銅鉱山の鉱床を中心に調査	37	海	37.11.15 ~ 38.3.5	3	4,613
			38	海		0	189
3	電源開発計画調査	同国北部のカルチ県サンミゲルテカール水力発電計画に関するフィジビリティ調査。	40	海	41.2.24 ~ 41.4.9	5	6,034
			41	海		0	5,201
4	ミカ電源開発計画調査	キトー市南東80kmにありアマゾン河の支流に注ぐミカ河の水力開発計画に関しフィジビリティ調査。	43	海	43.8.14 ~ 43.10.12	6	14,069
5	電力長期開発計画調査	エクアドル電力会社が作成した電力長期5カ年計画(1973~1977年)を現状にあわせて見直すとともに、1984年末までの10カ年を対象としたエクアドル国全体の電力系統の骨格を形成する発電設備開発計画の最適案を技術的、経済的観点より策定するための調査を実施した。	49	海	50.1.20 ~ 50.3.20	6	20,205
			50	海	50.1.10 ~ 50.11.22	1	33,691
6	紙パルプ工場建設計画	エクアドル国北西部エスメラルダス地方の国有森林資源を活用し、パルプから紙までの一貫工場を建設するためのF/Sを実施することを目的とするものである。 57年度は①エクアドル国側の要請内容等の具体的把握、②関連サイトの実情把握、③関連情報の収集、④本格調査に係るS/Wの協議を行いS/Wに署名した。これに引き続いて、現地調査および現地調査結果をとりまとめた報告書(案)の現地説明を実施した。 58年度は最終報告書を印刷・製本し、先方政府に送付した。	57	海(事前)	57.7.11 ~ 57.7.24	5	6,919
			"	海	57.10.2 ~ 57.11.5	9	62,694
			"	海(報告)	58.2.19 ~ 58.2.28	4	
			58	"	(報告書作成)		5,930
7	代替エネルギー開発計画	エクアドル国では一人当りのエネルギー消費量が過去20年間に2.5倍もの割合で増加しており、今後ともこの傾向は続くものと思われ、エネルギー供給体制、特に石油に代わる代替エネルギーの供給体制の策定を急務としており、本調査はエクアドル国における代替エネルギー開発政策、開発状況、関係機関の組織力等の検討を行うものである。 58年度は、要請内容の確認、関連サイトの概略踏査、関連データ・資料の収集を目的とした予備調査団を派遣した。 59年度は、前年度実施した現地調査に基づき、報告書を作成した。	58	海(予備)	59.3.16 ~ 59.3.25	6	6,608
			59	"	(報告書作成)		158
8	チェスピ水力発電開発計画	本計画は、最大需要地(グアヤキル市)に近接して100MW程度の発電を行うおうというものであり、1992年の運転開始を構想している。59年度は事前	59	海(事前)	59.7.28 ~ 59.8.11	4	7,353
			"	海	60.1.10 ~ 60.3.10	9	41,097

エクアドル

エクアドル

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
		調査によるS/Wの締結に引き続き本格調査の一部として、インセプションレポートを作成し、エクアドル政府に説明した。 昭和60年度はM/Pの再検討を行い、計画3地点のうちでチェスピ計画が最も経済的なプロジェクトであることを確認したうえで、地形測量、地質調査、電力調査、水文調査、社会環境調査等を行い、またその結果の国内解析により最適発電計画を策定した。	60	海	60.6.16～60.12.24	13	145,312

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額(億円)	調査年度	調査種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績(千円)
1	漁業訓練計画	漁業資源の有効利用のため、漁業訓練及び研究に必要な漁業訓練船及び水産資源研究用機材の供与	53.2.28	5					
2	漁業振興計画	内水面漁業を発展させるための漁業訓練・研究を目的とする養殖用施設の建設及び養殖水産研究用・教育用機材の供与	56.3.26	5	55	基本設計	55.7.31～55.8.20	6	16,160
					55	実施促進	56.1.16～56.2.2	(2)	(787)
					56	実施促進	57.3.19～59.4.1	(2)	(896)
3	常細漁民訓練計画	沿岸漁業の振興に必要な漁業訓練船の供与	58.4.5	5.66	57	基本設計	57.10.11～57.10.31	6	14,877
					58	実施促進			31

## 〔開発協力方式技術協力〕

## 開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	エク アド ル
コスタ地区飼料穀物開発協 力	① 基礎一次調査 エクアドル国政府の要請にもとづき、エクアドル国における農業開発に対する日本側の協力の可能性について、特に民間が行う農業開発協力事業の促進を図る見地からエクアドル国の提示するとうもろこし、大豆、ソルゴー（コーリヤン）の三作物に限定して、これらの開発計画地域について、農業技術上の観点から調査し、これらの情報を広く国内関係者に提供することを目的とする。50年度は5名からなる基礎一次調査団を派遣した。 ② 基礎二次調査 上記基礎一次調査の結果をふまえ、飼料穀物の開発事業の可能性調査のため、昭和54年1月、9月からなる調査団を派遣し、飼料穀物栽培の実態、投資環境の具体的な把握等、現地調査および資料収集等を行った。	50	基礎一次 調 査	50.10.6～50.10.30	5	5,590	
		53	基礎二次 調 査	54.1.21～54.2.17	9	9,116	
		54		(同上報告書作成)	0	2,287	
		〃	開発計画 調 査	54.8.6～54.9.7	6	6,052	
		55		56.4.9～56.4.24	5	4,862	

## 開発協力技術指導

## 専門家派遣

プロジェクト名	年 度	人 数	派 遣 期 間	経 費 実 績 (千 円)	技 術 指 導 内 容
コスタ地区農業開発協力	53	4	54.3.30～54.7.29	6,959	飼料穀物(長期調査員)

エル・サルヴァドル

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	131,858	86	14,154	7	23,105	8	12,411	6	11,494	7	18,484	8	211,506	122
専 門 家	284,565	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	284,565	30
調 査 団	88,971	27	-	-	-	-	-	-	-	-	3,774	3	92,745	30
協 力 隊	421,777	73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	421,777	73
機 材 供 与	145,960	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145,960	-
そ の 他	2,266	-	-	-	-	-	-	-	-	-	563	-	2,829	-
合 計	1,070,397	-	14,154	-	23,105	-	12,411	-	11,494	-	22,821	-	1,154,382	-

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ン エ ー ジ ー		商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ン エ ー ジ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	122	1	1		16	3	28	3			2	2	24	4	3		13		15	1	6	211,506	
専 門 家	30				6		8					8	1				6		1			284,565	
調 査 団	30				8	13						9										92,745	
協 力 隊	73				1	1	1	4				1		1			35				29	421,777	
機 材 供 与																						145,960	
そ の 他																						2,829	
合 計																						1,154,382	

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農林水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経 費  (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
35年度	2											2											6,727	
36 "	5						1					4												
37 "	2											2												
38 "	1																	1						
39 "	(1) 5				(1)		2											3					1,220	
40 "	(1) 2				(1)		1											1					1,288	
41 "																								
42 "																								
43 "																								
44 "	1																	1					565	
45 "	8						1	1				1	1		1							3	7,198	
46 "	4				2																	2	6,038	
47 "	5				1		1											1		1		1	10,434	
48 "	1							1															1,095	
49 "	3						1					1	1										4,835	
50 "	(1) 12				5		(1)2					2						1		2			22,377	
51 "	13	1	1				4					1	1					2		3			24,840	
52 "	14				1		3					5	1					2		2			29,559	
53 "	4						2											1		1			6,523	
54 "	3						2													1			7,615	
55 "	1																			1			1,546	
56 "	7				2	1	2					1								1			14,154	
57 "	8				1							5	1							1			25,105	
58 "	6				1		2	1												1			12,411	
59 "	7				1		2				2										1		11,494	
60 "	8				2	2	2													1			18,484	
合計	(3) 122	1	1		(2)16	3	(1)28	3			2	2	24	4	3			13		15	1	6	211,506	

エル・サルヴァドル

(注) カッコは国際機関研修員で外教である。

専門家派遣事業

エル・サルワールド

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)		
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化						
35年度	2						1						1											
36 "	2						1						1											20,580
37 "	2												2											
38 "	2						1						1											
39 "																								5,996
40 "	1												1											6,809
41 "	1						1																	8,439
42 "	1												1											8,573
43 "	2						1							1										15,181
44 "	1				1																			13,260
45 "	3						1											2						17,767
46 "																								13,657
47 "	3																	3						8,595
48 "																								21,466
49 "	3				3																			32,953
50 "	1				1																			24,543
51 "	3						1						1					1						42,794
52 "	2				1		1																	46,146
53 "																								52,647
54 "																								
55 "																								
56 "																								
57 "																								
58 "																								
59 "																								
60 "																								
合計	29				6		8						8	1				6						519,406

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
43年度	11																11						11,399
44 "	2																2						15,539
45 "	13																13						30,066
46 "	10																					10	25,798
47 "	8																					8	96,787
48 "	3																3						36,811
49 "	6							2						1		3							42,055
50 "	8															2						6	52,057
51 "	4					1	1															2	58,923
52 "	4				1			1					1									1	63,062
53 "	4							1								1						2	49,409
54 "																							5,249
合 計	73				1	1	1	4					1		1	35						29	487,155

エル・サルヴァドル



〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

派	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費
				(千円)
1	機械自動車科用機材	エルサルバドル国立工業高校	42	4,326
2	体育機材	教育省	48	7,354
3	医療機材	中央電気通信センター	51	2,504
4	地震工学用機材	集団研修コース	59	4,732
計	4 件			18,916

〔プロジェクト方式技術協力〕

協術協力センター事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人 数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
国立工業技術学校拡充 協力計画 協定等の種類：なし 署名年月日： 協力期間	エル・サルヴァドル国立工業技術学校は、 昭和31年エル・サルヴァドル国の首都サ ン・サルヴァドル市に設立され、学科は(1) 機械科、(2)自動車整備科、(3)電気科、(4)電 子科の4科である。 わが国の協力は、昭和35年10月の専 門家派遣に始まり延べ17名の専門科を派 遣した。 また、昭和45年度には本件を小型プロ ジェクトとして取上げ、昭和45年度 15,168千円、昭和46年度11,943千円の 機材を供与した。その内訳は自動車部門に 1,216千円、測定用計器類に550千円、電 気部門に4,562千円、電子部門に3,557千 円、ラジオ・テレビ部門に2,020千円、工 具類を38千円等を供与し、エル・サルバ ドル国立工業技術学校の発展に大いに寄与 した。	35	事前調査	※2	…							
		36					—	※3	…			
		37					※3	—	…			
		38					※2	※3	…			
		39					※1	—	…			
		40					※2	※1	…			
		41					※2	※1	…			
		42					※2	※1	…			
		43					※2	※2	…			
		44					※3	※1	…			
		45					※4	※2	…		15,168	
		46					※4	—	…		11,943	
		47					※1	※3	…			
		48					※3	—	…			
		49					※3	—	…			
50					※1	—	…					

保健医療協力事業(単 発)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
消化器がん		49					継 続	新 規	975		42	1,017

エル・サルヴァドル

{ 開発調査方式技術協力 }

関発調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	新国際空港建設計画調査	大型機種乗り入れ可能な新国際空港を建設する計画についてのフィジビリティ調査。 48年度は報告書を作成した。	47	実施調査	47.11.6～47.12.15	13	26,960
			48	報告書説明	48.7.18～48.7.27	5	6,637

海外開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中南米鉱工業プロジェクト選定確認調査	④(エル・サルヴァドル, ホンデュラス, パナマ, ヴェネズエラ)中南米一般を参照のこと。	50	海	51.3.6～51.3.26	(2)	(561)
2	金属機械工業開発計画調査	エル・サルヴァドル国は、第4次5カ年計画を1978年よりスタートさせたが、この基本は工業化の促進にあり、とくに金属機械工業部門を開発するため、現在UNIDOの援助を得て同部門の基礎調査を実施中である。このような状況において、同部門開発のマスター・プランおよび上記調査より同国が選定した4業種(農機具, 電気, ガス・水道メーター, 小型コンプレッサー, 工具類)のフィジビリティ調査をわが国に要請してきたので、技術的, 経済的見地から開発の可能性を検討するため、51年度に実施した現地調査にもとづき、52年度は報告書を作成し、現地説明を行った。	51	海	51.11.27～51.12.19	8	43,967
			52	海(報告)	52.11.12～52.11.20	1	8,340

〔無償資金協力〕

無償資金協力事業

エル・サルヴァドル

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	首都圏公共輸送力増強計画	生産力回復の阻害要因の1つである公共輸送力の回復・増強を図るためのバス供与。	61. 1. 8	4	60	事前調査	60. 6. 29 ~ 60. 7. 8	3	2,564
					60	実施調査	61. 1. 18 ~ 61. 2. 1	(2)	(1,210)

グレナダ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	3,115	3	-	-	-	-	2,046	1	5,513	2	3,508	1	14,182	7
専門家	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	12,609	-	-	-	-	-	-	-	1,365	-	13,323	-	27,297	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	15,724	-	-	-	-	-	2,046	-	6,878	-	16,831	-	41,479	-

グレナダ

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)	
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業 貿易	観光	人的 資源	科学 文化					
研修員	7							3		2	1					1							14,182
専門家																							-
調査団																							-
協力隊																							-
機材供与																							27,297
その他																							-
合計																							41,479

2. 事業別実績  
 [一般の技術協力]  
 研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
52年度	1															1						1,242
53 "	2							2														1,873
54 "																						
55 "																						
56 "																						
57 "																						
58 "	1									1												2,046
59 "	2									1	1											5,513
60 "	1							1														3,508
合 計	7							3		2	1					1						14,182

グレナダ

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	消防訓練用機材(小型消防車)	グレナダ外務省	55	12,609
2	消防車部品	"	59	1,365
3	スクールバス用機材	労働省	60	13,323
計	3 件			27,297

グレナダ

グアテマラ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

グ ア テ マ ラ  形 態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	170,297	117	25,552	12	27,003	12	20,765	12	23,074	11	27,083	14	293,774	178
専 門 家	791,768	99	157,781	10	200,042	12	110,554	10	85,629	4	83,588	2	1,429,332	137
調 査 団	735,608	127	122,534	15	14,534	4	198,815	50	130,598	22	241,723	21	1,443,812	239
協 力 隊			-		-		-		-		-		-	
機 材 供 与	239,419		32,330		36,318		20,113		18,577		5,305		352,062	
そ の 他	27,906		4,724		9,572		12,317		6,213		5,081		65,813	
合 計	1,964,998		342,921		287,469		362,564		264,091		362,780		3,584,823	

(2) 形態別・分野別

形 態	分 野 人 数 計 (人)	計 画 ・ 行 政		公 共 ・ 公 益 事 業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 計 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	178		4	2	26	10	68	10	1			9	4	7	5	1		29		2	293,774	
専 門 家	137	5		2	5	2	12				1	3			3	101					1,429,332	
調 査 団	239			23	24	47						70	17	21				32			1,443,812	
協 力 隊																					-	
機 材 供 与																					352,062	
そ の 他																					65,813	
合 計																					3,584,823	

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)		
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化						
35年度	1					1																	} 2,201	
36 "																								
37 "	1					1																		
38 "	2						1	1																} 339
39 "	1							1																
40 "																								
41 "																								
42 "	1							1																898
43 "	2							1						1										1,467
44 "	3						1	1						1										1,653
45 "	7						2	3					1		1									5,400
46 "	3				1		1						1											2,596
47 "	3						1	1														1		3,982
48 "	8				4		1						1		1	1								10,136
49 "	9				2		4	1												1		1		12,581
50 "	9				1		7							1										12,658
51 "	13				7		3								1					2				19,692
52 "	18				5		6						2							5				28,962
53 "	9						3						2		2					2				16,919
54 "	14		1	1			5						2		1	1				3				24,500
55 "	13		1		1		5							1		1				4				26,313
56 "	12		1		1		7													3				25,552
57 "	12				1		8											1		2				27,003
58 "	12					3	4							3						2				20,765
59 "	11		1	1	1	3	4													1				23,074
60 "	14				2	2	5		1											4				27,083
合計	178		4	2	26	10	68	10	1				9	4	7	5		1		29		2		293,774

グ  
ア  
テ  
マ  
ラ



専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
47年度	1										1											5,939
48 "	2						2															12,750
49 "																						27,729
50 "	5				5																	34,307
51 "	3					2	1															43,313
52 "	4			2			2															30,319
53 "	3						1					1					1					44,764
54 "	3													3								65,263
55 "	1						1															69,028
56 "	0																					46,475
57 "	1						1															49,549
58 "	3						1					2										23,297
59 "	1						1															80,340
60 "	2						2															88,893
合計	29			2	5	2	12				1	3		3			1					621,966

グ  
ア  
テ  
マ  
ラ

〔一般の技術協力に係る機材供与〕  
単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	水産機材	農業省PESCA社	48	3,271
2	電話訓練機材	電信電話公社(GUATEL)	52	26,628
3	医療関係機材	国立総合病院	54	4,087
4	職業訓練用視聴覚機材	職業訓練校	59	6,352
	(文献技術情報供与)			
1	技術文献 (30冊)		58	773
計	4 件			40,338

グ  
ァ  
テ  
マ  
ラ

〔プロジェクト方式技術協力〕  
保健医療協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団			専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人 数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
オンコセルカ症研究対 策 Onchocerciasis Res- earch and its Contr- ol 協定等の種類：R/D 署名年月日：50.7.21 協力期間： (当初) 50.10.1～55.9.30 (延長) 55.10.1～58.9.30 相手国機関：	グァテマラ共和国は、同国におけるオン コセルカ症の撲滅に開し、昭和48年わが 国に医療協力を要請してきた。 昭和48年末に専門家派遣による予備調 査、昭和50年3月の事前調査団の派遣を 経て同年7月に派遣された実施調査団によ りグァテマラ政府保健省との間にR/D (期間5年間)が取交わされた。 これによりわが国は、グァテマラ国内で オンコセルカ症研究対策のための医療協力 を、次の3点を重点項目として実施するこ ととなった。 ①オンコセルカ症対策(媒介虫対策および	48					① 1	① 1,496		① 1,496	
		49	事前調査	50.3.6～ 50.3.26	4	4,171					4,171
		50				250					10,571
		51	実施調査	50.6.28～ 50.7.24	4	4,451				万能顕微鏡	5,870
		52	計画打合せ	52.6.23～ 52.7.10	3	3,175	7	14	94,251	凍結乾燥機	21,319
		53	エバリュエ ーション	54.2.11～ 54.2.25	5	4,456	8	13	101,756	肺機能測定装 置顕微鏡,ラン ドクルーザー	② 3,751 56,217
		54				398		9	95,529	万能顕微鏡, 低温解卵器	③ 3,088 28,400
		55				670 2,969	8	28	112,141	脳波計 超低温冷凍庫	④ 1,450 16,529
56				176	8	10	112,090		⑤ 7,832 16,360 ⑥ 14,569 16,979		

グ  
ア  
テ  
マ  
ラ

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)											
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)													
グアテマラ保健省 国内協力機関 国立予防衛生研究所	化学療法を含む)のための基礎調査。 ② San Vicente Pacaya パイロット地区 ( 300 Km <sup>2</sup> )での媒介虫対策を重点とする オンコセルカ症対策の実施。 ③グアテマラ全土で採用し得る、効果的な オンコセルカ症媒介虫対策の確立。 なお、協力期間の前半では準備段階として 媒介虫であるブユの生態研究、試験地域 の設定、散布計画の立案作成、後半は薬剤 散布の実施と効果測定に重点をおいて協力 を実施し、昭和54年2月には、協力期間 前半の終了に伴い、効果測定のため、5名 からなるエバリュエーション調査団を派遣 した。  [カウンターパート受入実績] <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>51～54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table>	年度	51～54	55	56	57	58	人数	8	1	1	2	1	57	機材修理	58. 4. 7～ 58. 4. 21	3	Ⓔ 208 Ⓔ 2,735	11	11	152,806	Ⓔ 11,606 Ⓔ 18,547	185,902
		年度	51～54	55	56	57	58																
		人数	8	1	1	2	1																
		58	エバリュエ ーション	58. 7. 8 58. 7. 21	5	Ⓔ 123 Ⓔ 7,457	11	4	82,388	4,562	110,197												
				5,751				9,916															
59	同 報 告 上 報 告 成				Ⓔ 282					282													
マラリア研究対策	グアテマラにおけるマラリアによる死亡 率はきわめて高く、これの対策研究は緊急 かつきわめて重要な課題となっていること から、わが国に技術協力を要請してきた。	60	事前調査	61. 2. 24～ 61. 3. 7	5	5,228	0	0	—	—	5,228												

保健医療協力事業(単 発)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
昆 虫 学		58				Ⓢ 70	-	1	4,710		Ⓢ 1,871	6,651
		59				Ⓢ 27	1	1	8,323		Ⓢ 435	8,785
寄 生 虫 学		59				Ⓢ 13	-	1	4,160		Ⓢ 218	4,391
昆虫学、寄生虫学ス ーパイズ		59				Ⓢ 13	-	1	4,160		Ⓢ 218	4,391

グ  
ァ  
テ  
マ  
ラ

保健医療協力事業(大学教授)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
消化器内科学		58					-	2	1,822		Ⓢ 1,328	3,150

保健医療協力事業(特別機材)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
サンカルロス大学		55									10,651	10,651

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

グ ア テ マ ラ	No.	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	1	開発調査プロジェクト 選定確認調査	①(グアテマラ, ペルー)中南米一般を参照のこと。	47	事前調査	47.12.1～47.12.26	(6)	(2,264)
	2	港湾建設計画調査	グアテマラ国の太平洋岸には現在サンホセ港とチャンペリコ港の2港があるが、けい留施設として砂浜の天然海岸から沖に向けて鉄杭栈橋が1本あるのみで本船の接岸は不可能であり、荷役は沖合に停泊した本船と解を使って極めて非効率かつ危険な状況にある。また、輸出入貨物は、ほとんど近隣諸国の港を通して取扱われているため、きわめて割高なものとなり、国民経済上大きな負担となっている。このため同国政府は外航大型船の港湾建設調査をわが国に要請した。これを受けて48年度の予備調査を実施。49年度においてはフィージビリティ調査を実施した。	48	事前調査	48.9.17～48.10.8	5	5,150
49				実施調査	49.4.16～49.5.15	15	15,376	
〃				報告書説明	49.9.25～49.10.8	4	11,743	
	3	治水計画	グアテマラ南部太平洋岸のパンタレオン・アナグアテ河を中心とする治水計画調査を実施するもので、57年度は11月にコンタクト・ミッションを派遣し、治水計画調査の内容、方法等の調査を行い、昭和58年2月に事前調査団を派遣し、S/Wの締結を行った。 58年度は、水系全体の長期治水計画を策定し、中間報告書を作成した。 59年度は、水系全体の長期治水計画及び緊急計画につき、最終報告書を作成、送付した。	57	事前調査	57.10.31～57.11.14	4	11,591
〃				〃	58.4.4～58.4.18	6		
58				実施調査	58.8.2～59.3.13	20	142,402	
〃					(調査業務実施)		1,563	
59				実施調査	59.6.11～59.11.7	14	110,660	
	4	グアテマラ市地下水開発計画調査	グアテマラ市の生活用水確保のため、同市長期水供給計画により「緊急計画1」として指定された市中央部等84Km <sup>2</sup> を含むグアテマラ峡谷(800Km <sup>2</sup> )における地下水開発計画のF/Sを行うものである。59年度は、12月にS/Wを締結した。 60年度は本格調査を行い、インテリムレポートとして取りまとめた。	59	事前調査	59.12.2～59.12.16	4	5,332
60				実施調査	60.7.12～60.12.17	12	236,495	
					61.1.16～61.3.15	4		

海外開発計画調査事業

年	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	①(ブラジル, エクアドル, グアテマラ, ペルー) 中南米一般を参照のこと。 ②(エクアドル, グアテマラ, ペルー) 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23 ~ 47.11. 9	(2)	(422)
			48	海	48.11.18 ~ 48.12. 3	(2)	(529)
2	地熱発電開発計画調査	ケサルテナンゴ地区を中心とする地熱地帯概査, 資料収集・分析, 現況把握 等各種調査。 48年度は, 第1次調査の結果にもとづき, 第3次調査の円滑な実施を期す るため, その前段として, 物理探査のための測線の決定, 発破孔の仕様および 位置決定等の諸条件調査, 測線沿いの縦断面図の作成, 諸便宜供与の指示等を 実施。 上記調査の結果, 優勢な地熱徴候をもっていることが確認されたスニール地 区について, 51年度は第3次として, 地質調査, 電気探査, 地震探査等を実 施し, 地熱貯溜層を解明し, 試錐位置を確定した。 52年度はこれらについて報告書を作成し, 現地説明を行った。	47	海	48. 2.27 ~ 48. 3.28	7	11,651
			48	海	49. 2.11 ~ 49. 3.12	3	14,074
			51	海	51.11.28 ~ 52. 1.21	10	55,524
			52	海	52. 9. 3 ~ 52. 9.13	1	7,353
3	製油所建設計画	グアテマラ国に産出する原油を利用する製油所および関連施設を建設するた め, 58年7月に事前調査団を派遣しS/Wを締結するとともに11月に本格 調査を行い, 報告書作成のための国内解析作業を実施した。プロジェクトの概 要は, 原油処理能力4万バレル/日の製油所, 原油受入れターミナル, パイ プライン約200 Kmの建設の調査である。 59年度は前年度実施した本格調査の結果を最終報告書(案)にとりまとめ, 現地説明を行い, 最終報告書を作成・送付した。	58	海(事前)	58. 7.11 ~ 58. 7.23	4	4,537
			58	海	58.11.12 ~ 58.12. 4	9	36,912
			59	海(報告)	59. 6.24 ~ 59. 7. 2	4	14,271

グ  
ア  
テ  
マ  
ラ

資源開発協力基礎調査事業

グ ア テ マ ラ	No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
グ ア テ マ ラ	1	西部地区資源開発協力 基礎調査	グアテマラ国政府の要請にもとづき西部地区の鉱物資源の賦存の可能性を調査するもの。調査期間は、昭和51年度から3年間、調査対象地域は、同国西部地区の面積約2,000 Km <sup>2</sup> で、昭和52年度から昭和53年度にかけて地質調査、物理探査、ボーリングを実施した。 (注) 51年度の+(2)は金属鉱業事業団(MMA)予算。	51	資	51. 7.10 ~ 51.12.29	7+(2)+(3) MMAより 2名参加、 現地参加3 名	75,647
				52	資	52. 9. 7 ~ 53. 3.21	17	170,061
				53	資	53. 6. 6 ~ 53.10.26	15	132,821
	2	資源開発協力基礎調査 フォローアップ調査	(グアテマラ、メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	54	資	54. 8. 1 ~ 54. 8.15	(4)	(904)
	3	東部地区資源開発協力 基礎調査	東部のチキムラ(Chiquimula)、マタケスクイントラ(Mataquescuintla)地区の面積約2,200 Km <sup>2</sup> における鉱物資源賦存の可能性調査を行うもの。55年度は、第1年次調査の結果に基づき抽出された地域の地質調査、ボーリングを行った。 昭和56年度は、土壌または岩石サンプルによる地化学探査および地質調査(精査)を実施した。	54	資	54. 5.25 ~ 54.12.13	21	84,160
				55	資	55. 8. 6 ~ 55.12. 5	11	133,269
				55	資	55. 8.25 ~ 55. 8.29		
				"	資	55.11.11 ~ 55.11.20	5	80,805
				56	資	56. 7. 8 ~ 56.11.16		
				"	資	56.10. 3 ~ 56.10.31		
57	資	(機材供与)		3,852				
4	チキムラ地区地域開発 計画調査	同国チキムラ県の南西に所在するロス・シミエントス地区とベントナイト鉱床を中心とする鉱山開発に必要なインフラストラクチャー整備計画策定と、それに関連する経済効果を分析検討するものである。 昭和56年度は、現地調査および収集した資料に基づき国内解析作業を行い、報告書の作成を行った。	56	資	56.10. 3 ~ 56.11. 1	6	39,564	
5	事前調査折衝	(アルゼンティン、チリ、フィリピン、中国、グアテマラ) 世界一般を参照のこと。	56	資	56. 6.12 ~ 56. 6.25	(7)	(821)	
			"	資	56. 5.30 ~ 56. 6.11			
			"	資	57. 2.15 ~ 57. 2.19			
			"	資	56.12.15 ~ 56.12.19			
			"	資	56. 6. 3 ~ 56. 6. 9			
			"	資	56. 8.11 ~ 56. 8.22			
			"	資	56. 7.12 ~ 56. 7.22			

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	地方水道施設復興整備計画	1976年2月の大地震により破壊された水道施設の修復を含め地方町村の水道施設の整備。	54. 1. 15	4	54	実施促進	54. 6. 23 ~ 54. 7. 2	(1)	(333)
					"	"	54. 12. 5 ~ 54. 12. 26	(3)	(1,397)
					"	"	55. 4. 9 ~ 55. 4. 21	(2)	(778)

グ  
ア  
テ  
マ  
ラ

〔開発協力方式技術協力〕  
開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
林業開発協力	グアテマラは、国土の65%が森林であり、熱帯広葉樹およびマツ類資源が豊富に賦存しているものの、それが十分に活用されず、製材業等木材加工業はあまり発達していない。このため、グアテマラ政府は、木材加工業の振興・近代化を図ることとし、わが国に経済・技術協力を要請してきた。 本調査は、グアテマラの森林資源の賦存状況、林産業の現状、木材流通の実態等を調査し、民間協力の可能性を明確にすることを目的とするものである。 53年度は基礎一次調査団を派遣し、林業振興計画、経済、社会開発計画等を調査するとともに森林資源の賦存および利用の現況、木材加工業をとりまく情勢および投資環境等について調査を行った。	53	基礎一次 調査	53.10. 3 ~ 53.10.25	5	5,156
		54		(同上報告書作成)		



ガイアナ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	36,385	21	7,960	3	6,890	2	1,673	1	8,527	3	13,927	4	75,362	34
専門家	1,649	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,649	2
調査団	25,309	10	954	1	-	-	12,261	3	17,845	6	-	-	54,376	20
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,430	-	127	-	-	-	419	-	996	-	-	-	2,972	-
合計	62,773	-	9,041	-	6,897	-	14,353	-	27,368	-	13,927	-	134,359	-

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 累計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)	
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業 ・ 貿易	観 光	人的 資源	科学 ・ 文化					
研修員	34						8	10			6		5	4	1								75,362
専門家	2										2												1,649
調査団	20										17			3									54,376
協力隊																							-
機材供与																							-
その他																							2,972
合計																							134,359

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)		
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化						
45年度	1										1												724	
46 "																								
47 "																								
48 "																								
49 "	3										1			2										3,836
50 "																								1,817
51 "	5							4							1									4,357
52 "	5						2	1			1		1											10,269
53 "																								
54 "	4						2	1						1										6,929
55 "	3						1	1					1											8,473
56 "	3						2						1											7,960
57 "	2												1	1										6,890
58 "	1												1											1,673
59 "	3							1			2													8,527
60 "	4						1	2			1													13,927
合 計	34						8	10			6		5	4	1									75,362

ガイ  
アナ

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)			
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化							
52年度	2										2													1,649	
合 計	2										2														1,649

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

ガイ ア ナ	No.	プロジェクト名	概 要	年	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
				度				
1		漁業基地建設計画調査	本計画は、ガイアナ国の未開発のまま放置されている同国沖合の漁業資源を開発し、自国民は勿論、同国がその一員となっているカリブ自由貿易連合の食糧基地の役割を果たすための漁業基地を建設するに当り、その施設の一部をわが国に援助方要請してきたものである。当事業団は、わが国の援助に依るに当り、その計画内容の実現能否と援助実施についてフィージビリティ調査を行った。	49	特	50. 1.10 ~ 50. 1.31	4	3,975
				50	特		0	190
2		デメララ漁港整備計画 基本設計調査	同国政府は国内の漁業振興のため、ジョージタウンのデメララ漁港の建設計画を立案し、わが国に対し無償資金協力を要請してきた。これに応じて、わが国は50年と53年に2回の無償資金協力を行ったが、更に第3次建設計画に対する無償資金協力の要請があったので55年8月に調査団を派遣し、協力の意義・効果を確認するとともに、第3次建設計画の果たす役割と必要施設規模について同国政府関係機関と協議、必要な現地調査を行うと共に第3次建設計画の基本設計を作成した。	55	特	55. 8. 7 ~ 55. 8. 28	6	16,205
3		ディーゼル発電機整備 計画	恒常的停電および遠隔地での電圧低下の解消を図るため発電機3台の供与にかかわる基本設計調査を実施した。	58	特	58. 9. 4 ~ 58. 9. 22	3	10,801
4		第四次デメララ漁港計 画	沿岸漁業振興のため製氷、貯氷施設等の建設及び機材の整備にかかわる基本設計調査を実施した。	59	特	59. 8.14 ~ 59. 9. 3	6	17,845

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	漁業開発計画	ガイアナ漁業開発計画の一環である棧橋等の建設。	53. 9. 22	4	54	実施促進	55. 4. 9 ~ 55. 4. 21	(2)	(778)
2	漁業振興計画	トロール船の増加に伴う棧橋のバースの増加と漁船修理のための作業所及び付随機材の供与。	56. 1. 28	6	55	基本設計	55. 8. 7 ~ 55. 8. 28	6	開発調査
					"	実施促進	56. 1. 16 ~ 56. 2. 2	(2)	(787)
					56	"	57. 3. 23 ~ 57. 3. 30	1	7,173
					57	"			7
			58	"	59. 3. 12 ~ 59. 3. 26	(2)	(1,460)		
3	ヴェルサイユ発電所整備計画	深刻な電力供給不足をきたしている首都圏北西部西デメララ地域のヴェルサイユ発電所内にディーゼル発電機の整備。	59. 6. 4	6.28	58	基本設計	58. 9. 4 ~ 58. 9. 22	3	開発調査
4	デメララ漁港計画	食糧確保の観点から、水産業の振興を計るため、デメララ漁港の整備。	60. 3. 22	4.9	59	基本設計	59. 8. 14 ~ 59. 9. 3	6	開発調査
5	漁業振興計画	沿岸漁業振興のため、トロール漁船、漁具の供与、水産物冷凍・冷蔵施設及び加工施設の建設。	60. 10. 4	4.61					

ガイ  
アナ

ハイティ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ハイ ティ 形態	年度 経費及び 人数		29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	6,408	8	-		3,190	2	1,826	1	5,171	2	7,256	2	23,851	15		
専 門 家	749	1	1,346	1	-		-		-		-		2,095	2		
調 査 団	1,913	2	28,718	14	520		3,063	2	12,481	4	30,124	13	76,819	35		
協 力 隊	-		-		-		-		-		-		-			
機 材 供 与	-		1,225		-		-		-		-		1,225			
そ の 他	151		1,915		-		280		611		2,442		5,399			
合 計	9,221		33,204		3,710		5,169		18,263		39,822		109,389			

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源				
研 修 員	15						1	4			3				2			5			23,851
専 門 家	2																	2			2,095
調 査 団	35				3			13										19			76,819
協 力 隊																					-
機 材 供 与																					1,225
そ の 他																					5,399
合 計																					109,389

2. 事業別実績  
 [一般の技術協力]  
 研修員受入事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
37年度	1						1																
38 "	1							1															
39 "	1							1															
40 "																							
41 "	1							1															573
42 "																							
43 "																							
44 "																							
45 "																							
46 "	1															1							697
47 "																							
48 "	1															1							953
49 "																							
50 "																							
51 "																							
52 "																							
53 "																							
54 "																							
55 "	2																		2				4,185
56 "																							
57 "	2																		2				3,190
58 "	1																						1,826
59 "	2																						5,171
60 "	2								1												1		7,256
合 計	15						1	4				3				2				5			23,851

ハイ  
テイ

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
56年度																						173
57 "																						
58 "																						
59 "																						
合計																						173

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業(単発)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
							継続	新規				
医療材料整備		54					-	1	749			749
マラリア撲滅計画		56					-	1	1,173		1,225	2,398

〔開発調査方式技術協力〕  
開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)	ハイ テイ
1	結核検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設計画調査	結核撲滅のための検診センターおよびシグノ・サナトリウム建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	56. 6. 6 ~ 56. 6. 26	7	27,359	
			〃	特	56. 9. 12 ~ 56. 9. 21	5		
2	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ハイティ, ホンデュラス, ペルー, ボリヴィア)	58	事前調査	59. 2. 19 ~ 59. 3. 5	(5)	(1,189)	
3	医療機材整備計画	首都をはじめ8都市にある10病院におけるサービス向上のための医療機材の整備に関し, 基本設計調査を実施した。	59	特	59. 7. 7 ~ 59. 7. 26	(5)	(9,468)	



〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金額 (億円)	調査 年度	調査種類	調査期間	調査団 派遣人数	経費実績 (千円)	
1	マラリア撲滅計画 (I) (II) (III)	マラリア撲滅に必要な資機材の供与	54. 11. 7	3	54	事前調査	54. 7. 16 ~ 54. 7. 29	2	1,126	
			57. 4. 21	4.5	54	実施促進	54. 7. 16 ~ 54. 7. 29	2		
			59. 12. 26	3.5	55	"	56. 1. 16 ~ 56. 2. 2	(2)		(787)
					58	フォローアップ	59. 2. 28 ~ 59. 3. 10	2	1,874	
				59	実施促進	60. 1. 14 ~ 60. 1. 19	1	462		
2	結核撲滅計画	結核撲滅のため結核コントロールセンターとシグナサナトリウムの建設及び機材の供与	56. 10. 14	6	56	基本設計	56. 6. 6 ~ 56. 6. 26	7	開発調査	
					"	報告書説明	56. 9. 12 ~ 56. 9. 21	5		
					"	実施促進	56. 12. 5 ~ 56. 12. 13	2		1,359
					57	"	57. 11. 8 ~ 57. 11. 20	(1)		(520)
3	道路建設計画	地方道路整備延長計画の実施に必要な道路建設用機材の供与	59. 4. 9	5	59	実施促進	59. 5. 23 ~ 59. 5. 31	1	833	
					"	"	59. 10. 22 ~ 59. 10. 31	2	1,718	
4	医療機材整備計画	ハイティ国立大学病院、イザイエ・ジャンティ産院、結核シグノサナトリウムの医療機材の整備	59. 12. 26	2.2	59	基本設計	59. 7. 7 ~ 59. 7. 26	(5)	開発調査	
5	食糧増産援助	食糧増産を図るため、農業・肥料等の供与。政変の為中断。治安の回復を待って実施促進調査の予定。	60. 12. 27	5						
6	フォン・パリジャン平野 灌漑計画	地域開発の一環として農業生産力の回復を図るため破壊されたかんがい施設の復旧・建設にかゝる基本設計調査			60	事前調査	60. 9. 1 ~ 60. 9. 18	4	30,124	
					"	基本設計	61. 1. 20 ~ 60. 2. 7	9		

ホンデュラス

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	143,267	91	26,137	16	35,123	17	32,748	18	42,760	18	41,730	25	321,765	185
専 門 家	78,638	9	48,527	12	49,496	4	128,843	11	175,362	9	198,474	7	679,340	52
調 査 団	891,853	137	235,087	39	232,094	32	96,802	29	282,462	45	61,749	15	1,800,047	297
協 力 隊	328,822	62	147,361	22	160,632	18	205,194	32	229,551	30	319,531	55	1,391,091	219
機 材 供 与	165,978		56,736		58,567		67,321		221,104		160,399		730,105	
そ の 他	19,795		6,895		5,711		6,288		9,934		4,430		53,053	
合 計	1,628,353		520,743		541,623		537,196		961,173		786,313		4,975,401	

ホンデュラス

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ	商業・観光		人的資源		保	社	そ	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業	エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化	健 康 医 療	社 会 福 祉	の 他	
研 修 員	185	7	6		9	9	55	25	1	10	7	5	8	1	3		6		19		4	321,765
専 門 家	52	1				14	4	18		1	1		1				5		6		1	679,340
調 査 団	297				29	14		131		46	27	46							2		2	1,800,047
協 力 隊	219	3	3		1	1	9	30	1	2	18		40		2		38	39	8		24	1,391,091
機 材 供 与																						730,105
そ の 他																						53,053
合 計																						4,975,401

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

ホンデユラス

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信・ 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業・ 貿易	観 光	人的 資源	科学・ 文化				
37年度																						919
38 "	1						1															594
39 "	2								2													
40 "	1						1															660
41 "	1						1															469
42 "																						
43 "	2						2															1,203
44 "	1						1															649
45 "																						
46 "	3						3															2,415
47 "	2	1					1															1,962
48 "	4				1															3		3,383
49 "	4				1		2												1			7,063
50 "	11					1	4								1		4		1			19,832
51 "	10					2	1					1			1		2		3			17,389
52 "	10					2	3				1	2			1				1			19,960
53 "	13		1		3	1	3	3											2			20,226
54 "	13				1	2	3	1				2	1						3			22,193
55 "	13		1		1	1	5	1		1		1	1						1			24,350
56 "	16	1			1		4			4			3								3	26,137
57 "	17	2	1		1	3	5	1		2	1										1	35,123
58 "	18	1	1			2	6	3		1	2			1					1			32,748
59 "	18					3	4	6	1	1	2								1			42,760
60 "	25	2	2			2	5	8		1	1		2						2			41,730
合計	185	7	6		9	19	55	25	1	10	7	5	8	1	3		6		19		4	321,765

専門家派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
50年度																							1,744
51. "	1																1						2,429
52. "	2							2															14,126
53. "	1					1																	21,989
54. "																							20,846
55. "	2						1	1															23,560
56. "	11					6	1	1		1		1											61,061
57. "	1						1																51,679
58. "	6					3		1									2						80,321
59. "	5	1					1	1															127,784
60. "	4					4											2						118,642
合 計	33	1				14	4	6		1	1	1					5						524,181

ホンデユラス

青年海外協力隊派遣事業

ホンデユラス

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
50年度	2							1			1											2,752
51	2						2															15,077
52	6							2			1		1								2	28,236
53	18						2	3			5						1				7	88,132
54	13										1		4				1				7	154,888
55	21						3	3		1	3		1				2		2		6	141,779
56	22	1				1		3		1	2		3				3	6	2			153,739
57	18							2			2		4				7	3				172,388
58	32				1			5			1		7		1		8	6	2		1	225,688
59	30	1	1					5					6				6	9	2			249,595
60	55	1	2				2	6	1		2		14		1		10	15			1	337,344
合 計	219	3	3		1	1	9	30	1	2	18		40		2		38	39	8		24	1,569,618

〔一般の技術協力に係る機材供与〕  
 単独機材供与事業

No	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	がん対策用機材	公衆保健省	50	5,209
2	気象水文観測用機材(自記水位計,他)	天然資源省	53	10,525
3	化学毒物検査機材	最高裁判所法医学部	54	13,638
4	車輛整備機材	職業技術庁	55	6,884
5	地質調査用機材	天然資源省水資源局	56	36,054
6	車輛検査用機材	職業技術庁	57	25,112
7	交通関係用機材	大統領府	57	7,886
8	電気通信訓練用機材	通信工業事業運輸省	58	10,832
9	身体障害者訓練用機材	国家社会福祉協議会	58	5,310
10	砂防用調査機材	公共事業局	59	31,280
11	救急車	赤十字社	59	7,062
12	食品加工用機材	INFOPHサンベドロスーラ	60	10,337
13	教員再教育用機材	文部省初中等技術局	60	39,797
	(文献技術情報供与)			
	1. 技術文献 (101冊)		58	2,087
	2. 技術文献 (96冊)		59	2,314
	3. 技術文献 (55冊)		60	369
計	13 件			214,696

ホンデューラス

〔プロジェクト方式技術協力〕  
保健医療協力(大学教授)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
消化器がん内視鏡		51					—	1	801		801	
法医学		52					—	2	1,627	Ⓣ 92	1,719	
泌尿器科学		56					—	1	1,032	Ⓣ 1,135	2,167	
マラリヤ		57					—	2	1,922	—	1,922	

(特別機材)

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
テグシカルバ病院		57								内視鏡	9,047	9,047

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)		
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)	
							継続	新規					
農業開発研究センター The Agriculture Development Train- ing Center 協定等の種類：R/D 署名年月日：58.5.19	ホンデュラス政府は、水稲および畑作の灌漑農業が漸く国家的事業として緒についた段階である同国農業の近代化を一層、促進するため、灌漑技術者の増大、技術向上を目的として、灌漑農業技術訓練センターの設置を計画し、この設立運営に対する協	56	事前調査	56.10.17～ 56.11.8	7	Ⓣ 449 Ⓣ 7,514			—	—	7,963		
		57	実施設計	58.2.23～ 58.3.11	4	2,716			1,150		3,866		
		58	"				8,786	0	5	53,490	建設機材、農業機械、車輛	Ⓣ 1,903 Ⓣ 12,487	86,652
		"	実施協議	58.5.10～ 58.5.23	5	4,775							
"	計画打合せ	59.3.18～ 59.3.31	5	Ⓣ 520 Ⓣ 4,691									

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団			専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)		
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)			
協力期間： (当初) 58. 7. 1 ~ 63. 6. 30 相手国機関： 天然資源省水資源局 国内協力機関： 農林水産省	力をわが国に要請してきた。これを受けて昭和55年プロジェクト・ファイナニング調査を行ったが、その結果、灌漑技術のみならず、農業技術一般の研修協力を行うのが望ましいとの勧告がなされたので、これに基づき、昭和56年10月、事前調査団を派遣し、ユマヤグア畜産農業試験場の一角に無償資金協力により新設される同センターに対する技術協力の可能性、内容等につき同国政府と検討協議を行い、併わせて現地調査を実施した。  この調査の結果、灌漑分野をはじめとする農業開発関連分野の技術者を訓練育成することにより、ホンデュラス国内の農地有効利用の促進及び農業生産の増大に資することを目的に、昭和58年7月R/Dに署名が行われ、協力が開始された。主な事業計画は、①農業開発研修センターを設立する。②天然資源省出先機関、普及組織及び農民指導者等各階層の実務者に対する研修を行う、③農業従事者の意識改革、生活水準の向上に寄与する等である。  昭和58年度には、わが国の無償資金協力によるセンターの建物の建設が開始され、第1期工事は、昭和60年3月完工した。また、プロジェクト基盤整備事業による試験圃場の整備が実施された。	59	同 上 報 告 作 成			5,349	4	4	75,648	トラクター、事務機器、農業機械、車輜他	7,485 122,987	211,469	
		60	巡回指導	60. 3. 17 ~ 60. 3. 30									
		60	巡回指導	61. 3. 19 ~ 61. 3. 28	2	1,852	8	3	86,299	理科学機器、通信機器、氣象機器他	2,983 83,550	174,684	

ホンデュラス



ホンデューラス

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)							
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)						
							継続	新規										
	<p>なお、具体的な事業内容は次の通りである。</p> <p>1) 灌漑施工技術者の訓練に必要な情報・資料の収集及び調査並びに試験・分析</p> <p>2) 上記訓練のための訓練計画, カリキュラム及び教科書の作成</p> <p>3) 訓練内容</p> <p>大学卒の施工技術有資格者に対する農学に重点をおいた上級コース(A)及び大学卒の農学有資格者に対する施工技術に重点をおいた同(B), 高校卒に対する実際面の訓練を内容とする中級コース並びに村落指導者に対する基礎的訓練を行う基礎コース</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	58	59	60	人数	2	4	3									
年度	58	59	60															
人数	2	4	3															

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
						継続	新規					
中南米農業協力プロジェクト ファインディング調査	(ドミニカ共和国, ホンデュラス) 中南米一般を参照のこと。	55	事前調査	55.8.30~ 55.9.20	(5)	(2,946)			-		-	(2,946)
アジア・中南米モデル インフラ指導	(インドネシア, ホンデュラス, パラグアイ, ペルー) 世界一般を参照のこと。	58	巡回指導	59.1.27~ 59.2.26	(3)							
				59.3.5~ 59.3.10	(2)	(1,282)			-		-	(1,282)
農林業協力プロジェクト 運営指導	(ホンデュラス, パラグアイ) 中南米一般を参照のこと。	59	巡回指導	59.11.12~ 59.11.29	3	3,677						3,677

ホンデュラス

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

ホ ン デ ユ ラ ス	順 号	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)				
1	1	チョルチカ川流域農業 開発計画	<p>ホンデュラス国は、農業開発の一環として、チョルチカ川にかんがいを主目的とするダムとその下流、約200 Kmの地点での頭首工、水路等のかんがい施設を築造し、約20,000 haを開発する事業を計画し、わが国にフィージビリティ調査の実施を要請してきた。</p> <p>この要請に基づき、昭和51年にフィージビリティ調査の方針決定及びこの事業を具体化するに必要な協力構想策定のため、現地概査、資料収集及び同国政府関係者との協議を実施した。昭和52年は、昭和51年の調査結果を踏まえ、フィージビリティ調査を実施し、その結果をドラフト・ファイナル・レポートとして取りまとめ、ホンデュラス政府に現地説明を行った。</p>	51	事前調査	52. 3.14 ~ 52. 4. 3	6	7,343				
				52	事前調査	( 報告書作成 )	0	3,621				
				53	実施調査	52. 7.15 ~ 52.10.10	19	65,330				
				53	実施調査	( 報告書作成 )	0	63,203				
				52	事前調査	52.10.14 ~ 52.10.31	7	8,251				
				53	実施調査	53. 2.17 ~ 53. 3.28	14	52,744				
				53	実施調査	53. 9.29 ~ 53.10. 9	4	73,638				
				54	実施調査	54. 2. 2 ~ 54. 3. 3	11					
				54	実施調査	54. 6.23 ~ 54. 7. 2	5	35,062				
				2	2	テグシガルバ新空港建 設計画調査	<p>現国際空港はプロペラ機時代に建設されたものであり、これを拡張することは地形上不可能なこともあって、新空港の建設を計画し、そのフィージビリティ調査を要請したものである。この要請にもとづき、適当な空港設置地区を選定し、建設に必要な諸事項の検討を含む調査を実施することとし、昭和52年度は本調査のS/W協議ならびに必要な資料および情報の収集を行うための事前調査を実施した。</p> <p>昭和53年度は昨年度実施した空港建設適地選定調査の国内取りまとめ作業を行い、ホンデュラス政府がこの選定に対し正式に確定したため、この確定候補地に関して新空港基本計画に立案し、これに基づくプロジェクトの総合評価を行った。</p>	52	事前調査	52.10.14 ~ 52.10.31	7	8,251
53	実施調査	53. 2.17 ~ 53. 3.28	14					52,744				
53	実施調査	53. 9.29 ~ 53.10. 9	4					73,638				
54	実施調査	54. 2. 2 ~ 54. 3. 3	11									
54	実施調査	54. 6.23 ~ 54. 7. 2	5					35,062				
3	3	水産資源調査	<p>ホンデュラス国政府は、第2次国家開発計画の一環として同国大西洋岸における水産資源開発を計画し、わが国に対し協力を要請した。この要請に基づき、昭和55年1月に事前調査を実施し、同年9月にS/Wを締結し、11月には実施計画協議チームを派遣して具体的な計画案の策定を行った。56年度は、同計画に基づき海上調査を実施した。これは57年度にも継続実施された。</p> <p>58年度は今までの調査結果をとりまとめ、算終報告書を作成し、ホンデュラス政府に提出し、その内容につき、説明した。</p>					54	事前調査	55. 1.25 ~ 55. 2.15	5	4,935
								55	事前調査	( 報告書作成 )	0	1,406
								55	実施調査	55. 8.29 ~ 55. 9.14	3	6,307
								55	実施調査	55.11.14 ~ 55.12.23	2	
								56	実施調査	( 資機材購送 )	0	62,976
				56	実施調査	56. 6. 5 ~ 57. 3.31	3	40,240				
				57	実施調査	57. 3. 8 ~ 57. 3.20	3					
				57	実施調査	57. 5.26 ~ 57. 3.31	3					
57	実施調査	57.10.28 ~ 57.12.11	1	38,949								

順	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
			57	実施調査	58. 1.29 ~ 58. 2.12	4	}	
			"	実施調査	(資機材購送) (報告書作成)			7,142
			58	実施調査	58.11. 2 ~ 58.11.13	3		4,710
			58	実施調査	(報告書作成)			262
4	林業資源調査	同国の森林政策上、重要な位置づけにありながら、未開発のラ・モスキーティア地区(20万ha)の林業資源の開発について、わが国に対し技術協力を要請した。そのため、「航空写真撮影」と「森林調査」を行い、「森林経営計画マスタープラン」を作成するものである。昭和55年8月にS/Wを締結し、昭和56年3月に航空写真撮影を完了した。56年度は基準点測量、森林基本図の図化および森林調査を行った。57年度は森林経営計画樹立に必要な調査を行うとともに今迄の調査結果をとりまとめ最終報告書を作成し、ホンデュラス政府に提出するとともにその内容につき説明した。	54	事前調査	55. 1.25 ~ 55. 2.15	5	14,221	
			55	事前調査	(報告書作成)	0	1,792	
			"	実施調査	55. 9.15 ~ 55. 9.25	4	}	
			"	実施調査	56. 1. 8 ~ 56. 3.31	4		26,390
			56	実施調査	56. 5. 8 ~ 56. 6.18	5	54,318	
			"	実施調査	56. 9.14 ~ 56.10.18	4	}	
			"	実施調査	57. 1.30 ~ 57. 3.30	8		54,273
			57	実施調査	57. 8. 9 ~ 57.10. 7	9	}	
			"	実施調査	57.11.29 ~ 57.12.28	4		69,936
			"	実施調査	58. 2.19 ~ 58. 2.28	3		
			"	実施調査	(調査業務実施) (報告書作成)		75,314	
			58	実施調査	(報告書作成)		109	
5	農業開発研修センター建設計画調査	灌漑事業を中心とする農業技術者の養成に必要な農業開発研修センターの建設に係る基本設計調査を実施した。	56	特	57. 2. 8 ~ 57. 2.22	9	12,301	
			57	特	57. 4.16 ~ 57. 4.26	4	19,019	
6	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ペルー、エクアドル、コロンビア、ホンデュラス、コスタリカ)	57	事前調査	57.11. 6 ~ 57.11.26	(5)	(656)	
7	経済技術協力調査	中南米一般を参照のこと。 (ハイティ、ホンデュラス、ペルー、ボリヴィア)	58	事前調査	58. 2.19 ~ 58. 3. 5	(5)	(1,189)	
8	アグアン川流域農業開発計画	北部アグアン川中流域23,000haを対象とし、灌漑・排水システムの改良、新設等の農業開発、牧畜・アグロインダストリーの導入、道路および社会インフラの整備を図るための計画策定である。昭和58年度はS/Wの締結およびR/S本格調査を実施した。昭和59年度は対象地域の地形図作成(1/50000)	58	事前調査	58. 7.30 ~ 58. 8.14	(5)	(2,762)	
			"	事前調査	58.11.13 ~ 58.11.27	5	5,489	
			"	実施調査	59. 2. 5 ~ 59. 3.31	11	59,238	
			59	実施調査	59. 7. 2 ~ 59.10.31	15	200,838	

ホンデュラス

ホン  
デ  
ユ  
ラ  
ス

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
		と第2次本格調査を実施した。	59	実施調査	60. 3. 2 ~ 60. 3. 15	4	}	
			60	実施調査	( 国内作業 )			6,248
9	Choltecal 川流域農業 開発計画補完調査	1978年に実施したF/S調査の補完調査として経済的,財政的な妥当性につ き再評価を行い,報告書を作成,送付した。	59	事前調査	59. 6. 9 ~ 59. 6. 23	4	}	
			"	実施調査	59. 8. 20 ~ 59. 9. 30	5		4,155
			"	実施調査	59. 12. 10 ~ 59. 12. 21	3		47,009
10	農村総合開発計画	農村の総合整備を推進し,地域農業生産の向上と農民の生活向上を図るため のかんがい排水設備,農道の整備,倉庫の建設。	59	特(事前)	60. 1. 20 ~ 60. 2. 3	5	}	
			60	特	60. 4. 17 ~ 60. 5. 31	9		4,858
			"	特(報告)	60. 8. 5 ~ 60. 8. 16	4		46,256
11	医療機材整備計画	首都テグシカルパ及びサンペドロスーラにある病院の医療機材の整備。	59	特	59. 7. 7 ~ 59. 7. 26	(5)	(9,468)	
12	経済技術協力調査 (プロファイ)	中南米一般を参照のこと。 (ホンデュラス, コロンビア, パラグアイ, ペルー)	59	形成基礎	59. 10. 24 ~ 59. 11. 18	(10)	(1,599)	
13	青年海我協力隊活動視 察	中南米一般を参照のこと。 (ホンデュラス, パラグアイ)	60	評価調査	60. 8. 9 ~ 60. 8. 29	(3)	}	
			"	評価調査	60. 8. 28 ~ 60. 9. 11	(3)		(2,888)

海外開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	④(エル・サルヴァドル, ホンデュラス, パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	海	51. 3. 6 ~ 51. 3. 26	(2)	(561)

資源開発協力基礎調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	資源開発協力基礎調査 プロジェクト選定確認 調査	(ホンデュラス, ニカラグア) 中南米一般を参照のこと。	51	資	51. 10. 3 ~ 51. 10. 25	(3)	(1,788)
2	西部地区資源開発協力 基礎調査	ホンデュラス国政府の要請にもとづき, 同国西部地区の鉱物資源賦存の可能 性についての調査。調査期間は, 昭和51年度から3年間。対象調査地区は,	51	資	52. 1. 24 ~ 52. 2. 15	1 + (3)	759
			52	資	52. 5. 1 ~ 52. 12. 25	28	222,877

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		チャメレコン川流域の面積約1,200Km <sup>2</sup> の地域である。	53	資	53. 5.15 ~ 53.10. 6	18	175,915
		④ 51年度の+3はMMA予算	54	資	54. 5.21 ~ 54. 9. 7	15	140,835
3	フォローアップ調査	(モロッコ, ホンデユラス) 世界一般を参照のこと。	55	資	55. 4.19 ~ 55. 4.28	(4)	(1,032)
			"	資	56. 1.13 ~ 56. 1.19		

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調 査 種 類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)	
1	農業開発研究センター建設計画 (I) (II)	かんがい, 栽培等の農業技術者の養成を目的とする農業開発研修センターの設立に必要な施設建設及び機材の供与。	57. 6. 28	8	56	基本設計	57. 2. 8 ~ 57. 2.22	9	開発調査	
			58. 7. 6	8	57	報告書説明	57. 4.16 ~ 57. 4.26	4		
					"	実施促進	57.11. 8 ~ 57.11.20	(1)		(520)
					58	実施促進	58. 9.12 ~ 58. 9.28	(1)		(444)
					59	実施促進	59.11. 5 ~ 59.11.26	(2)		(1,335)
2	マラリア、デング熱抑制計画 (I) (II) (III)	マラリア, デング熱を抑制するため, フェニトロチオン等殺虫剤, 防除用機材, 及び薬材運搬用車輛の供与。	57. 12. 24	5.3	59	実施促進	59. 9.24 ~ 59.10. 8	4	3,649	
			60. 2. 20	4.5	"	実施促進	60. 3.18 ~ 60. 3.31	(1)	(652)	
			61. 4. 3	4.5						
3	テグシガルバ母子病院機材整備計画	同母子病院~医療機材の供与。	59. 12. 20	5.24	59	基本設計	59. 7. 7 ~ 59. 7.26	(5)	開発調査	
4	農村総合開発計画	農村の総合整備を推進し, 地域農業生産の向上と農民の生活向上を図るためのかんがい排水設備, 農道の整備, 倉庫の建設。	60. 9. 2	8.5	59	事前調査	60. 1.20 ~ 60. 2. 3	5	開発調査	
					60	基本設計	60. 4.17 ~ 60. 5.31	9		
					"	報告書説明	60. 8. 5 ~ 60. 8.16	4		46,169
5	食糧増産援助	食糧増産を図るため, 農業, 肥料等の供与。	60. 9. 2	6						

ジャマイカ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

ジャ  
マイ  
カ

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	35,927	18	14,947	6	2,778	2	21,700	7	9,630	4	9,064	4	94,046	41
専 門 家	23,411	3	30,997		24,566		2,480	1	-		-		81,454	4
調 査 団	-		17,064	16	429		37,685	11	201,696	26	63,493	20	320,367	73
協 力 隊	-		-		-		-		-		-		-	
機 材 供 与	67,809		11,447		1,014		-		-		144		80,414	
そ の 他	448		2,298		-		1,677		4,370		3,756		12,544	
合 計	127,590		76,753		28,789		63,542		215,696		76,457		588,825	

(2) 形態別・分野別

形態	分 野 人 数 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農 林 ・ 水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商 業 ・ 観 光		人 的 資 源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 計 (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
研 修 員	41		10		1	3		8					2	1	2	3	2	4	1	1	3		94,046
専 門 家	4							3												1			81,454
調 査 団	73						7	66															320,367
協 力 隊																							-
機 材 供 与																							80,414
そ の 他																							12,544
合 計																							588,825

2. 事業別実績  
 [一般の技術協力]  
 研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
46年度	1				1																	737
47																						
48	2													2								1,821
49	2							1							1							3,837
50	1														1							1,014
51	2		1					1														1,818
52	1													1								3,404
53	1		1																			875
54	6		1					2				1					2					15,469
55	2							1				1										6,952
56	6		2			1														3		14,947
57	2					1		1														2,778
58	7		3			1							1			2						21,700
59	4							2					1				1					9,630
60	4		2									1						1				9,064
合計	41		10		1	3		8				2	1	2	3	2	4	1	1	3		94,046

ジ  
ヤ  
マ  
イ  
カ



専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
48年度	(4)							(4)														2,834
50	(3)							(3)														7,990
52	(1)							(1)														
53	(1)							(1)														
54																						351
55	2							2														17,392
56																						42,444
57	(2)							(2)														25,580
58	(1)							(1)														
59	(2)							(2)														
60																						
合計	(14)2							(14)2														96,591

(注) カッコは国際機関専門家で外教である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
58年度																						621
合計																						621

〔一般の技術協力に係る機材供与〕

単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	農業機材	農業開発公団	51	19,252
2	農業機材	農業開発公団	52	6,155
3	農業機材	農業開発公団	52	15,158
4	農業機材	農業開発公団	54	10,476
計	4 件			51,041

ジャマイカ

〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業(大学教授)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
歯 科 学		52					-	1	1,014		190	1,204

保健医療協力事業(特別機材)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
ウェストインディーズ 大学		51								大腸ファイバ ースコープ	10,406	10,406

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

ジャ  
マイ  
カ

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	ブラックリバー・ロー アーモラス農業開発計 画	ジャマイカ国西部のブラックリバー最下流の低湿地帯ローアーモラスの約 12,000 ha を対象とした農業を中心とした開発計画を立案するものであり、昭 和57年9月にF/Sの要請がなされた。これに対し昭和58年8月にコンタ クト調査を行い、昭和58年12月にS/W協議・締結を行った。  また、昭和59年2月より3月にかけて第1次調査を実施し、基礎デー タの収集、地形図作成のための測量作業を行った。  昭和59年度は前年に続き第二次調査を行い最終報告書(案)を取りまとめ た。	58	事前調査	58.7.30～58.8.14	(5)	(2,762)
			〃	事前調査	58.11.30～58.12.15	4	4,750
			〃	実施調査	59.2.20～59.3.31	7	29,232
			59	実施調査	59.6.25～59.10.28	19	200,505
			〃	実施調査	60.3.16～60.3.27	4	
			〃	実施調査	(質機材購送等)		
		60	実施調査	(国内作業)		5,430	
2	ジャマイカ国教育テレ ビ放送網拡充計画	ジャマイカ国の教育テレビ放送網拡充計画について、わが国の協力可能性を 検討するために、昭和60年3月にコンタクト・ミッションを派遣したが先方 の都合により、ペンディングとなっている。	59	事前調査	60.3.16～60.3.25	3	1,191
			60	事前調査			498
3	リオコブレ農業開発計 画	ジャマイカの首都キングストンの西方約50 Kmに位置するスパニッシュタウン を中心部に有するリオコブレ流域での約1万2000 ha の地域を対象とし、既存 の水利施設改修により用水の安定化を図り、主要作物であるサトウキビの増収 及び他の換金作物の導入に基づく同地域の農業開発計画を策定するもので、昭 和60年度は、事前調査を実施し、引き続き本格調査を開始した。	60	事前調査	60.12.5～60.12.19	5	53,835
			〃	実施調査	61.2.9～61.3.21	11	

## 〔開発協力方式技術協力〕

## 開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
コーヒー栽培開発協力	本調査は、ジャマイカのブルーマウンテン地域における立ち遅れたコーヒー 栽培技術に関し、近代的農法をとり入れた栽培技術、新品種の導入により、生 産性の向上を図るための試験的事業の可能性を検討し、次いで、開発計画 調査で、開発計画を策定するものである。  昭和56年度の一次調査においては、コーヒー・ボードの意向並びに現地調 査を行い、民間企業の同国コーヒー産業の再建、計画参加の可能性を調査した。 この結果に基づき、開発計画調査ではわが国民間が計画するブルーマウンテン地区北	56	基礎一次 調 査	56.7.12～56.7.26	8	7,782
		〃	開発計画 調 査	57.2.27～57.3.13	8	7,918
		57	開発計画 調 査	(報告書作成)		429

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	部山岳斜面における、品種並びに耕種法の改善と、土地改良を含む試験的事業に係る調査を行った。					

ジャ  
マイ  
カ

投融資審査等調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
農業投融資審査等調査	(ジャマイカ, ブラジル) 中南米一般を参照のこと。	60	投融資審査 等 調 査	60. 4. 17 ~ 60. 5. 4	(4)	(2,731)

開発協力技術指導  
専門家派遣

プロジェクト名	年 度	人 数	派 遣 期 間	経 費 実 績 (千円)	技 術 指 導 内 容
ブルーマウンテンコーヒー新栽培地開発	58	1	59. 1. 24 ~ 59. 3. 31	2,480	急傾斜地における開畑造成法に関する実施設計, および施行管理技術の指導

〔 開発投融資 〕

融資承諾 年 月	事 業 名	事 業 地	対 象 事 業	貸付条件・承諾額・契約額				貸付実行額		備 考
				金利(%)	返済期間 (月)内据置年	承諾額 (百万円)	契約年月	契約額 (百万円)	年 度	
57. 12. 28	ブルーマウンテンコーヒー新 栽培地域開発試験事業	ジャマイカスキ ポー地区	品種比較試験, 品種適 正試験, 栽培技術試験	0.75	20 (5)	243	58. 3. 14	120	57	120
							59. 11. 8	74.96	59	55.92
									60	19.04

メキシコ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累 計	
	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)	経 費 (千円)	人 数 (人)
研 修 員	2,864,379	1,194	624,076	160	627,003	177	467,854	132	230,373	101	291,352	115	5,105,037	1,879
専 門 家	1,299,685	150	243,571	37	382,233	37	406,294	36	474,559	36	559,025	83	3,365,367	379
調 査 団	1,174,680	238	154,814	39	303,820	70	228,240	70	226,774	64	371,951	71	2,460,279	552
協 力 隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機 材 供 与	475,361	-	152,514	-	348,388	-	154,151	-	495,769	-	571,142	-	2,197,325	-
そ の 他	46,965	-	12,767	-	21,557	-	19,367	-	21,897	-	31,692	-	154,245	-
合 計	5,861,070	-	1,187,742	-	1,683,001	-	1,275,906	-	1,449,372	-	1,825,162	-	13,282,253	-

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人 数 累 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費 累 計 (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
研 修 員	1,879	38	99	7	166	34	262	67	36	7	220	59	509	47	95	16	29	6	155	11	16	5,105,037
専 門 家	379	3	7	6	41	50	71	9	37	3	32	19	21	4			29		44	1	2	3,365,367
調 査 団	552	15			197	7	11	21	22	5		152	30	29			39		24			2,460,279
協 力 隊																						-
機 材 供 与																						2,197,325
そ の 他																						154,245
合 計																						13,282,253

2. 事業別実績  
〔一般の技術協力〕  
研修員受入事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	総 費 (千円)		
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化						
33年度	1												1										9,695	
34 "	1					1																		
35 "	4				3										1									
36 "	3		1						2															
37 "	8	1	1		4								1							1				
38 "	(1) 1				(1)				1															
39 "	6				1		2	1			2												2,468	
40 "	10				1		6	1			1							1					6,950	
41 "	10		1		1		6	1										1					6,320	
42 "	18				2		7	4	1		2							1				1	14,128	
43 "	17				4		7	1	1		2		1					1					12,671	
44 "	22	2			1		8	3	1		2		1					2				2	15,324	
45 "	(1) 19				3		(1) 7	4			2	1	1					1					13,549	
46 "	(1) 39				8		(1) 2	2	2		9	1	4		3			5		1		2	48,442	
47 "	(3) 111		1		(1) 19	3	(1) 26	11			2		28	10				4		2	(1) 5		192,336	
48 "	122		14		10		20	10			3	10	32		12	5		1		4		1	160,873	
49 "	82		6		1		10	2			4	7	40	3	7							2	130,615	
50 "	93	2	5		5		7	6			17	1	40					1		9			218,429	
51 "	107		10		3	3	10	5			6	5	49	3				3		10			331,304	
52 "	114	2	4		4		13	2	1	1	17	4	56		3	1			6				352,132	
53 "	127	4	7	1	7	1	9	4			23	2	34	5	12	2			16				288,755	
54 "	132	2	6	1	10		11	1	2	1	21		42	1	14	2	1		16			1	474,537	
55 "	147	5	6	1	13	4	7	2	1	2	24	5	49	2	2	2	2		19			1	585,851	
56 "	160	2	5	3	16	1	17	2	3		22	6	44	1	16	1			19		2		624,076	
57 "	177	2	10		13	8	23		8	2	23	6	34	3	18	1		2	21	2	1		629,926	
58 "	132	5	4	1	18	4	18		5		26	2	28	5	1	1	3	3	8		2		472,247	
59 "	101	2	10		9	2	23		5	1	7	7	9	3	3	1	2		14	3			231,832	
60 "	(1) 115	11	8		10	7	23	(1) 2	6		5	2	15	10	4			1	9	2			293,730	
合計	(7) 1,879	38	99	7	(2) 66	34	(3) 262	(1) 67	36	7	220	59	509	47	95	16	29	6	155	11	(1) 16		5,116,190	

メキシコ

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

メキシコ

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健 医療	社会 福祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
39年度	2						2															3,298
40 "	2						2															10,499
41 "	1						1															16,066
42 "	2						2															8,827
43 "	11				5		3				3											20,606
44 "	1				1																	12,132
45 "	4							1			3											22,417
46 "																						18,965
47 "	6				2			4														24,797
48 "	5						2				1	1									1	36,917
49 "	2										2											30,105
50 "	12		1		1	1		1			6						1		1			75,672
51 "	12	1					6				2	1	2									127,135
52 "	11				2		2		4		2						1					133,137
53 "	10						4				3	1	1				1					218,165
54 "	16	2			3		6					1					4					175,559
55 "	24			6		4	3		2		4		3				2					152,636
56 "	26		5		2	6	5					4	2				1			1		178,212
57 "	(2) 17				10	2	3	(2)			1	1										226,926
58 "	17				6	2	4				4		1									211,694
59 "	3						2				1											218,028
60 "	51		1		2	35	3					6	4									263,952
合計	(2) 235	3	7	6	34	50	50	(2) 6	6		32	8	16	4			10		1	1	1	2,185,745

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
58年度																						621
59 "																						488
60 "																						793
合計	0																					1,902

メキシコ



〔一般の技術協力に係る機材供与〕  
単独機材供与事業

メ キ シ コ	No	機 材 名	機 材 供 与 先	機材供与経費 (千円)	
				年度	
	1	水産指導用機材 (同上46年度支出分)	ラパス水産学校	45	3,170
				46	997
	2	果樹園芸研究機材 (同上47年度支出分)	サンチャゴ大学	46	1,855
				47	152
	3	農業教育機材	チャンピコ大学	49	15,878
	4	がん対策機材	国立がん研究所	50	4,584
	5	沿岸漁業機材	商工省水産局	52	5,193
	6	L・L装置	メキシコ大学	52	15,386
	7	電気通信機材	電気通信学園	54	51,942
	8	家畜衛生機材	農業水利資源省	54	10,716
	9	石油化学研究機材	文部省	55	11,786
	10	畜産指導用機材	綿羊繁殖センター	56	5,718
	11	港湾建設用機材	通信運輸省	57	38,457
		(文献技術情報供与)			
	1	技術文献(5冊)		57	25
	2	技術文献(346冊)		58	2,264
	3	技術文献(267冊)		59	8,924
	計	11 件			177,047

〔プロジェクト方式技術協力〕  
技術協力センター事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継 続	新 規				
電気通信技術訓練センター 協定等の種類：協定 署名年月日：42.7.24 協力期間 (当初) 42.7.24~46.7.23 (延長) 46.7.24~48.7.23 ( " ) 48.7.24~50.7.23  開所式：42.12.5	1961年メキシコ政府は大型マイクロ機密の保守要員の訓練のために訓練学校を設立し、わが国に対しマイクロ専門家の派遣を要請してきた。これに対してわが国は中南米技術協力計画に基づき2名のマイクロ専門家を派遣し、その後も海上無線および電話交換の2部門の増設希望に応じてそれぞれ1名、計2名の専門家を派遣した。  さらに、昭和43年メキシコオリンピック開催を契機に電気通信施設の大規模な拡充がはかられその施設の設計、建設、運用保守の分野に多数の技術者が必要となった。このためメキシコ政府は同校を拡充強化することを目的としてわが国に技術協力センター方式による協力を要請してきた。これを受けてわが国は、昭和41年6月実施調査団を派遣し、昭和42年7月24日両国政府間で協定を締結するに至った。  この結果、(1)マイクロウェーブ訓練コース、(2)電信自動交換訓練コース、(3)無線通信訓練コース、(4)搬送訓練コース、(5)電話網設計訓練コースの5コースを開設することとなった。  なお、この協定協力期間は、メキシコ政府の強い要望によって昭和46年および昭和48年に2年間づつ延長され、昭和50年7月23日協定終了にともない本センタ	39						※2	...		...	
		40						※2	※2	...		...
		41	実施調査	4.1.6.3~ 4.1.6.24	4	2,941	※4	※1	...			2,941
		42					※3 (3)	7	27,658		79,909	107,567
		43					8	2	32,724		295	33,019
		44					8	-	29,947		1,166	31,113
		45					8	2	34,287		11,300	45,587
		46					7	4	32,234			32,234
		47	エバリュ エーション		(2)	(605)	6		22,555		89,214	(605) 111,769
		48					6	※2 4	49,721		1,389	51,110
		49					6	1	49,931		518	50,449
		50	エバリュ エーション	5.0.7.9~ 5.0.7.19	2	1,222	6	-	18,304			19,526
		51	機材修理	5.1.8.13~ 5.1.8.29	2	2,060	※5		...			2,060
		52										0
		53										0
54	アフターケア	5.4.10.22~ 5.4.11.5	3	138 1,829					5,443	7,410		
55									1,294	1,351		

メキシコ

メキシコ

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)							
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)								
							継続	新規											
	<p>ーをメキシコ政府へ引継いだ。 〔カウンターパート受入実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年 度</td> <td>39~45</td> <td>48</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </table>	年 度	39~45	48	49	人 数	7	1	3										
年 度	39~45	48	49																
人 数	7	1	3																
<p>日墨技術教育センター Mexico-Japan Technological Education Center 協力等の種類：R/D 署名年月日：56.12.17 協力期間 (当初) 57.4.1~62.3.31 相手国機関： 文部省工業技術教育 局 国内協力機関： 労働省雇用促進事業 団</p>	<p>メキシコ政府は、同国の工業及び経済社 会開発のために必要な中堅技能労働者の不 足に直面しており、このため中堅技能労働 者の育成対策に重点を置いたCET(Centro de Estudios Technologicos)の整備に努 めている。しかしながら、既存のCETに おける教育訓練のレベルは未だ不十分であ り、CET卒業者の社会的地位も低いのが 現状である。このような背景のもとに、同 国政府は、CETのレベルアップを通じ、 真に実力を備えた中堅技能労働者を世に送 り出し、中堅技能労働者の社会的地位の向 上を図ることを目指し、特にわが国の得意 とする分野の協力を要請してきた。 この要請に対しわが国は昭和56年7月 に事前調査チームを派遣し、要請の背景、 要請の具体的内容について調査した。その 後同年12月にはこの調査結果を受けて実 施協議チームを派遣し、協力の具体的内容 につき協議を行い、R/Dに署名し、5年 間にわたるプロジェクト方式技術協力が開 始されることとなった。</p>	56	事前調査	56.7.27~ 56.8.9	7	5,567						5,567							
		57	実施協議	56.12.5~ 56.12.20	6	5,143	-	2	3,279				13,989						
		57	事前調査				② 278	-	5	34,391	パーソナルコンピューター システム 工作機材他	103,902	} 142,350						
		57	実施協議				② 280												
		58	巡回指導	58.3.16~ 58.3.27	4	3,499													
		58	巡回指導	59.3.19~ 59.3.29	4	② 194 3,160	5	3	82,682	精密測定、CPU ソフトウェア一式他	② 3,238 61,888		151,162						
59	同上 報告書作成					8	8	131,814	ミニコンターミナル 数値制御装置他	② 4,422 212,115	352,027								
60	機材修理	60.9.4~ 60.9.15	3	3,777	9	2	125,656	電話機機材 自動溶接機他	② 4,631 76,766		} 212,637								
60	巡回指導	61.3.12~ 61.3.23	4	3,319															

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)								
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)									
							継続	新規												
	<p>協定の内容は、養成の対象を中等教育終了者とし、(1)電子通信コース、(2)工業電子コース、(3)コンピューターコース、(4)仕上げコース、(5)工作機械コース、(6)金属加工コースの6コースにつき協力を実施するというものである。</p> <p>57年10月より、学校運営が開始した。 〔カウンターパート受入実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	人数	1	2	4	8									
年度	57	58	59	60																
人数	1	2	4	8																
港湾水理センター Port Hydraulics Center 協定等の種類：R/D 署名年月日：59.6.18 協力期間： (当初) 59.7.1~63.6.30 相手国機関： 通信運輸省港湾局 国内協力機関： 運輸省	<p>メキシコ政府は、国家開発計画の最優先として、臨海工業地帯の建設を進めておりその基盤施設として、ラサロ・カルデナス、アルタミラ等の港湾施設の整備を急いでいる。港湾施設の計画・設計のためには、その基礎として、現地観測と水理模型実験に基づく研究が重要であり、この分野で先進技術を有する日本の協力を要請した。この要請に対し、昭和58年9月事前調査団を派遣し、更に、昭和59年6月実施協議チームを派遣し、R/Dに署名し、4年間にわたる協力を開始した。</p> <p>本プロジェクトの目的は、水理模型実験と現地観測データ解析に波の不規則性を導入し、下記研究をより正確かつ有効に行う</p>	58	事前調査	58.9.19~ 58.10.8	5	5,677	-	-			5,677									
		59	同上 報告書作成			4	4,016	-	2	16,512	長水路用造波装置 システム一式	● 801 4,713	26,042							
			" 実施協議	59.6.11~ 59.6.22																
		60	計画打合	60.12.11~ 60.12.19	3	4,043	2	5	49,330	平面水槽用造波装置 ミニコンピュータ他	● 2,727 165,808	221,908								

メキシコ

メキシコ

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)							
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)						
							継続	新規										
	ための技術移転を図ることである。 ① 港湾内の静穏度予知と防波堤の配置決定に関する研究 ② 防波堤の安定性と構造設計に関する研究 ③ 海岸保全のための漂砂に関する研究 ④ 港内船舶の動揺とそれに作用する波力に関する研究 [カウンターパート受入実績]																	
	<table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	58	59	60	人数	0	0	2									
年度	58	59	60															
人数	0	0	2															

保健医療協力事業(単発)

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
緊急医療派遣 (地震災害)	昭和60年9月に発生したメキシコ地震に際し、医療チームを派遣し救急活動を実施した。 1次チーム2名60年9月20日～10月6日 2次チーム4名60年9月25日～10月6日	60				② 120	—	6	19,381		② 23,612	43,113

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
内視鏡		52					-	1	841		50	891
消化器内視鏡		56					-	1	940			940
消化器内科		57					-	1	750		453	2,703
		"					-	2	1,500			
		58					-	1	660		120	
外科学		58					-	2	1,322		239	1,561
小児外科		59					-	1	816		72	888

メ  
キ  
シ  
コ

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
国立医療センター腫瘍 専門病院		57								X線装置	28,733	28,733
		58										559
厚生省総合病院		59								X線装置	49,241	49,241
救急医療		59									10,000	10,000

人口家族計画協力事業

メキシコ

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数 継続 新規	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)		
人口活動促進計画 Promotion for Population Activities 協定等の種類：R/D 署名年月日：59.7.4 協力期間： (当初) 59.7.4～63.9.30 相手国機関： 国家人口審議会事務局 国内協力機関： 文部省、厚生省、 日本大学人口研究所	メキシコでは、従来人口増加は国の発展・国力の増強に資するものと考えられていたため、年平均人口増加率は1960年3.07%、1970年3.41%と極めて高率となっていた。しかしながら、経済成長率が下降気味となってきた1974年代前半に人口圧力は、国家的大問題となってきたため、1974年には「国家人口法」を制定し、CONAPOを設置し、人口問題の解決に努めてきた。その結果、1980年の人口増加率は3.29%と下降したものの依然高率を示しており、更に経済状況は悪化しつつあるため、1982年に発足した新政権も、国家開発計画の成否を左右するものとして人口計画を重視しており、今般CONAPOより、人口問題解決の一環として、人口活動の促進に対する協力を日本に要請してきたものである。  メキシコ政府は、総合開発計画の一環として現在の人口増加率2.98%を西暦2000年までに1%に下げることが目標とし、全国的規模の家族計画活動を推進することとしている。協力要請の内容は、家族計画活動を推進する人材を養成するための機関として設立を計画している人口・家族計画普及センターの運営とセンターにおける教育訓練を行う要員を指導養成することにある。	57	事前計画	57.1.122～ 57.12.2	5	⑤ 878 3,837					4,715	
		58	実施協議	58.7.10～ 58.7.19	3	⑤ 203 1,766		4	4,442		⑤ 191	6,602
		59	"	59.7.1～ 59.7.13	5	⑤ 569 4,709		15	16,291		⑤ 357 33,845	60,195
		60	計画打合	60.3.6～ 60.3.20	5	4,424						
			"	61.1.27～ 61.2.7	6	5,460	3	9	57,262		⑤ 5,560 129,155	197,437

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)	
	(カウンターパート受入実績)										
			年度	58	59	60					
			人数	0	2	3					

メキシコ

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)		
			調査の種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)			
家畜衛生センター The Animal Health Center Project 協定等の種類：R/D 署名年月日：56.4.14 協力期間： (当初) 56.6.1~61.5.31 相手国受入機関： 農業水資源省 国内協力機関： 農林水産省	メキシコ政府は昭和53年にアフリカ豚コレラがブラジルに発生して以来、同病の侵入防止に対処するため、動物ウイルス病撲滅に全力を挙げているが、昭和55年8月、家畜衛生センター設置運営に関し、わが国に技術協力を要請してきた。この要請に対しわが国は昭和55年7月に事前調査チームを派遣し要請内容の確認と技術協力の可能性につき調査した。その後昭和56年3月に派遣された実施協議チームによりR/Dが締結され協力が開始された。 本件プロジェクトは、同国メキシコ連邦州テカマク市にある農業水資源省牧畜副省畜衛生局家畜衛生センターを拠点として豚コレラGPワクチンの試作製造技術とワクチン検定技術の確立ならびに豚コレラ、ア	55	事前調査	55.7.21~55.8.10	5	⑤ 23 5,562					9,745		
		"	実施協議	56.3.30~56.4.17	5	4,160							
		56	同上 報告書作成				⑤ 772					82,454	
		"	計画打合	57.2.8~57.2.23	3	2,572	-	6	35,444	ワクチン製造機材 ワクチン検定機材	⑤ 5,867 37,729		
		57	巡回指導	58.1.19~58.2.3	3	12,081	5	6	72,495	ワクチン製造機材 ワクチン検定機材 ウイルス検定機材 車輛	⑤ 4,535 119,769	208,880	
		58	同上 報告書作成				⑤ 483	6	9	80,174	ワクチン製造、検定 用機材、車両、モル モット	⑤ 4,631 60,681	150,851
		"	巡回指導	58.1.19~58.1.26	5	⑤ 378 4,504							
		59	同上 報告書作成					7	6	98,675	冷知遠心機、超低温 槽、回収培養装置他	⑤ 3,054 132,019	236,416
		"	巡回指導	59.10.19~59.1.19	2	2,668							
		"	"	59.10.29~59.11.9	1								
60	"	60.7.29~60.8.5	1	4,742		5	8	74,921	恒温装置、ワクチン 製造、検定用機材他	⑤ 2,452 55,039	137,154		
"	エパリュ ーション	61.4.9~61.4.24	4										



メキシコ

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)														
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)													
							継続	新規																	
	<p>フリカ豚コレラの診断技術の確立と重要ウイルス疾病の診断技術の指導・助言等を内容とする技術協力を実施するものである。</p> <p>昭和58年度は、特に豚コレラワクチンの製造、検定技術指導を重点的に実施し、このため純水製造装置の供与等施設を整備した。</p> <p>昭和59年度、昭和60年度は、豚コレラワクチンの製造、これの野外試験、電子顕微鏡供与によるウイルス病診断技術に重点を置き協力が実施された。</p> <p>[カウンターパート受入実績]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>年度</td> <td>53</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table>	年度	53	56	57	58	59	60	人数	3	2	4	4	2	5										
年度	53	56	57	58	59	60																			
人数	3	2	4	4	2	5																			
林業開発	<p>メキシコ国土19,670万haのうち、14,300万haが森林地域であり、ことうち森林面積は4,100万haであるが、近年急激な森林減少が懸念されている。このようななかにあつて、中央森林行政を担当している同国農業水資源省森林副省は、木材生産量の増大、苗木生産、造林、森林保護等の事業を意欲的に推進しようとしておりこれらについて豊富な経験を有するわが国に技術協力を要請してきた。事前調査団はメキシコ国側の協力要請の背景を探り、技</p>	57	事前調査	57.8.9~ 57.8.27	5	5,378	-	3	4,688	● 392	10,448														
		58	同上 報告書作成			● 524			8		532														

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規			
	術協力の意義および協力の可能性を調査するとともにメキシコ国側関係者と協議して今後の協力の方向づけを行った。										
農林水産業協力における人材養成システムに関する調査	(フィリピン、タイ、コロンビア、コスト・リカ、メキシコ) 世界一般を参照のこと。	55	基礎調査	56.3.2~ 56.3.21	(4)	(2,796)					(2,796)
家畜衛生計画基準作成調査	(インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ケニア、メキシコ、コスト・リカ、コロンビア) 世界一般を参照のこと。	56	基礎調査	57.3.30~ 57.4.23	(8)	(1,578)					(1,578)
		57	"			Ⓢ(1,368)					(1,368)
中南米農林業協力プロジェクト運営指導	(ブラジル・メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	57	巡回指導	58.2.25~ 58.3.11	(11)	4,401					4,401

産業開発協力事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
							継続	新規				
選鉱製錬技術育成 Technical Cooperation on The Technology of Mineral Processing and Metallurgy	1977年8月に中南米プロジェクト選定確認調査団訪墨の折り、調査団に対しメキシコ政府国有財産工業振興省(CFM)より、非鉄金属、鉱物の選鉱・精練に関する技術開発、技術指導、人材養成につき協	53	事前調査	53.10.18~ 53.11.16	4	4,984						
		54	実施協議	54.1.24~ 54.1.28	3	2,110	-	4	10,328	215	12,653	
		55					Ⓢ 253					} 37,991
		"	計画打合	55.1.26~ 55.1.210	4	3,325	-	4	19,265	赤外分光光度計 示差熱分析計	Ⓢ 766 14,382	

メキシコ

メキシコ

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家			機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数	経費 (千円)	主要機材名	経費 (千円)			
協定等の種類：R/D 署名年月日： 協力期間： (当初) 54.12.5~58.12.4 (延長) 58.12.5~59.12.4 相手国機関： 工業振興省鉱業振興局	力の打診があった。1978年には、同国政府は非鉄金属の選鉱・精練部門に対するわが国の技術協力を正式に要請してきた。これに対しわが国は、昭和53年10月に事前調査団を派遣し、協力の可能性について調査した。昭和54年11月には、上記事前調査の結果を踏まえ、実施協議チームを派遣し、メキシコ側関係機関と協議し討議議事録にとりまとめ署名した。本プロジェクトは、国有財産・工業振興省鉱業振興局選鉱製錬研究所(テカマチャルコ研究所)に対して、技術研究開発・現場指導及び人材養成等の能力を付与することを目的とし、①銅・鉛・亜鉛等を含有する複雑硫化鉱の選鉱技術、②風化によって生成した酸化銅鉱の製錬技術、③鉱石処理に不可欠な分析技術等の技術指導を実施するものである。 57年度は、長期専門家4名を引き続き派遣するとともに、溶媒抽出装置ほかの機材供与、セグレーション試験装置の試作改良および研修員3名の受入れを実施した。 58年度は、昭和58年12月の協力期間終了に先立ち、昭和58年10月エバリュエーションを行った結果、選鉱分野については、さらに1年間協力を継続することとした。また、偏光顕微鏡他の機材供与お	56	巡回指導	57.1.27~ 57.2.12	4	① 1,852 ② 3,428	4	2	45,208	X線蛍光分析装置、原子吸光分光光度計	① 720 ② 76,596	128,428	
		"				③ 624							
		57	同上 報告書作成				④ 135	4	3	54,017	パソコン、溶媒抽出金属圧延機セグレーション装置	⑤ 2,458 ⑥ 32,151	90,317
		"	巡回指導	57.11.17~ 57.12.1	2	1,556							
		58	同上 報告書作成				⑦ 176	4	0	36,538	小型連続浮選機偏光顕微鏡	9,114	49,131
		"	エバリュエーション	58.10.24~ 58.11.2	4	3,303							
		59	同上 報告書作成				⑧ 219	1	1	9,831	サイクロサイダーX線装置用管球	⑨ 1,730 ⑩ 10,526	25,099
		"					⑪ 2,793						

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)															
			調査の 種 類	調査期間	人 数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)																
							継 続	新 規																			
	<p>よび研修員2名の受入れを実施した。</p> <p>59年度は、選鉱分野について行ったフォローアップが終了して、協力も最終的に完了した。</p> <p>〔カウンターパート受入実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>	年度	53	54	55	56	57	58	59	人数	1	0	3	4	3	2	2										
年度	53	54	55	56	57	58	59																				
人数	1	0	3	4	3	2	2																				
未利用鉱物資源回収技術開発 Project on Recovery of Valuable Minerals from Utilized Puritrich Polymetallic ores 協定等の種類：R/D 署名年月日：61.2.18 協力期間 (当初) 61.2.18~65.2.17 相手国機関： エネルギー鉱山国営企業省鉱業振興局 国内協力機関： 通商産業省、同和鉱業kk、光和精鉱kk	<p>オアハカ州を中心とするメキシコ東南部はメキシコ合衆国の中でも最も開発の遅れた地域の一つとなっており、1983年から開始された国家開発計画においても、同地域の開発は最重要案件の一つとなっている。同政府としては、この地域を開発するにあたっては未利用のまま放置されている豊富な硫化鉱物資源を最大限に活用していきたい考えである。それには、鉱物の分析等の基礎研究・試験及び操業改善に向けての選鉱・製錬等の技術を確立するとともに技術者の養成を図る必要があり、わが国に技術協力を要請してきた。このためわが国は昭和59年度に事前調査団を派遣し、要請背景の調査と協力内容の概念設計を行った。</p> <p>これを受け、昭和60年度は長期調査員2名を5月及び8月に派遣し、協力計画の</p>	59	事前調査	60.3.6~ 60.3.17	6	4,640	-	-	440		-	5,080															
		60	実施協議	61.2.12~ 61.2.21	5	3,976	0	2	11,399		183	15,558															

メキシコ

メ  
キ  
シ  
コ

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
	<p>詳細設計を行うとともに、昭和61年2月には実施協議チームを派遣し、昭和61年2月18日から、昭和65年2月17日までの4年間の協力にかかるR/Dに署名、協力を開始した。</p> <p>協力の内容は下記の通りである。</p> <p>(1) 比較的多量の有価金属を含有する未利用硫化鉄鉱の選鉱技術</p> <p>(2) 硫化鉄鉱中に緻密に含有される有価金属を回収するための焙焼・塩化揮発製錬技術</p> <p>(3) 選鉱及び製錬産物の迅速分析技術等の基礎技術を移転し、</p> <p>① 中規模製錬プラントの設置</p> <p>② 中規模プラントの運転能力の育成を行うことによって含金・銀・銅硫化鉄物等の未利用鉄物資源の活用を図る。</p>											

〔開発調査方式技術協力〕

開発調査事業

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査種 派遣人数	経費実績 (千円)
1	メキシコ・コスタリカ 港湾計画調査	(コスタリカ、メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	46	事前調査	47. 1.25~47. 2.21	(4)	(1,997)
2	港湾建設計画調査	マンサニージョ、マサトラン両港の整備計画について、フィジビリティ調査を行い、その結果としてマンサニージョ港整備計画と同港工業団地計画、マサトラン港水産団地計画の3プロジェクトを早期完成させるため、施行管理体制の強化を勧告し、施行指導のため専門家2名を派遣してフォローした。	47	実施調査	47. 9. 6~47.10. 9	12	30,236
			〃	報告書説明	48. 3.30~48. 4. 6	2	1,360
3	市内通勤鉄道建設計画 調査	メキシコ市は、1,250万人の人口を有する大都市であり人口も年々増加しており、通勤圏は郊外に分散せざるを得ない現状にある。現在使用できる交通手段としては地下鉄、バス、乗用車に頼っており、特に道路交通において、交通渋滞は著しく、また排気ガスによる大気汚染に悩まされている。メキシコ政府は通勤鉄道を建設することが急務であるとの結論から、この点の検討を行う調査団の派遣を要請してきた。この要請に基づき、通勤鉄道新線建設に係わる経済的・技術的可能性のプレフィージビリティ調査を実施した。本調査ではS/Wに基づきメキシコ側策定基本計画を見直すと共に、建設予定路線7.2kmの建設基準の検討、工費算定、経済効果等について必要な調査を行った。なお、本件は大規模プロジェクト調査としてとりあげられている。	52	事前調査	52. 7.27~52. 8.12	8	50,856
			〃	事前調査	52. 9.19~52.10.19	12	
			〃	事前調査	53. 1.18~53. 1.27	7	
4	近郊鉄道計画調査	メキシコ国政府は、鉄道施設の近代化を進めているが、第1段階としてメキシコ〜ケレタロ間の複線化、メキシコ〜ラス・トルーチャス間の新線建設計画を実施中であるが、次段階としてメキシコ全土の幹線電化を計画し、優先区間として、①メキシコ〜ケレタロ間(244km)、②ケレタロ〜イラプアト間(95km)、③アオルカド〜サンルイス・ポトシ間(211km)を取り上げ、このうち①と②の2区間については1982年までに建設させたいとしてメキシコ国鉄の職員を中心に第1次F/Sを作業中である。本件は、電力の問題を初めとして施設計画等技術的事項および財政、運営等のソフトの分野についてわが国に協力を要請越したものである。	54	アフターケア	54. 6.18~54. 8. 1	4	7,326
			〃	〃	〃	〃	〃
5	幹線鉄道電化計画調査	前記第1次F/Sにもとづきメキシコ国政府はメキシコ〜ケレタロ、ケレタロ〜イラプアト間については1982年までに建設したいとして、昭和55年3月より詳細設計のための調査を開始した。調査の開始にあたり、詳細設計等を	54	事前調査	55. 3. 3~55. 3.12	2	2,168
			55	実施調査	55. 4.16~55. 8.31	6	
			〃	実施調査	55. 5.23~55.11.14	5	

メキシコ

メキシコ

№	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査員派遣人数	経費実績(千円)
		<p>行わせるためSCT(運輸通信省)内に国鉄電化調整局を設け、その補佐組織として技術諮問会を設置した。この技術諮問会は詳細設計調査の結果をレビューし、その妥当性につき評価、コメントを行うことを目的としているが、同国政府はこの諮問会に対する技術協力を要請越したものである。</p> <p>この要請に対しわが国は、幹線鉄道電化の詳細設計の技術基準、仕様書、入札書類等に対し技術上の助言を行い、電化計画の推進に協力した。</p>	55	実施調査	55. 6. 2~55. 6.29	4	109,045
			"	実施調査	55. 6.20~55. 7. 4	5	
			"	実施調査	55. 7. 4~55. 7.24	3	
			"	実施調査	55. 8. 1~55.12.24	2	
			"	実施調査	55. 8.14~55. 8.31	3	
			"	実施調査	55. 9.10~55.11.14	3	
			"	実施調査	55.10.10~55.10.24	1	
			"	実施調査	55.11. 3~55.11.17	1	
			"	実施調査	55.11.21~55.12.17	6	
			"	実施調査	56. 1.12~56. 2. 1	1	
			"	実施調査	56. 1.19~56. 2. 1	2	
			56	実施調査	(報告書送付)	0	39
6	経済技術協力調査	メキシコに対するわが国の技術協力の効率的な実施を図るため、同国政府と協議し、昭和54年度までに実施した技術協力のレビューと昭和55年度実施する技術協力案件の選定、確認を行った。また10年を経過した日墨交流計画について検討のため協議を行った。	55	事前調査	55. 7.29~55. 8. 4	3	1,644
7	臨海工業地帯建設技術協力計画調査	<p>同国政府の要請に基づき、同国で行っている臨海工業地帯建設に不可欠な港湾整備に関し、計画推進上生じている諸問題解決に必要な調査を実施し、代替案の提案等を行うものである。昭和56年度は港湾の計画、工事の進展に伴い要請が強くなっている各港の多目的埠頭に対する荷役施設を含めた施設計画および貨物のハンドリング・オペレーションに対する検討を行い、建設計画の提案を行うとともに最終報告書を作成した。</p>	55	実施調査	55. 7.23~55. 8.12	2	29,858
			"	実施調査	55.11.10~55.11.26	2	
			"	実施調査	56. 1.26~56. 2.15	2	73
			56	実施調査	(報告書送付)	0	
			"	実施調査	56. 9.30~56.10.18	2	
"	実施調査	57. 1.21~57. 2.14	2				
			57		(報告書作成)		168
8	トスクパン工業港計画調査	<p>同国政府は、現在主要都市、特に高地にある3大都市(メキシコシティ、モンテレイ、グアダラハラ)に集中している工業、人口を分散し均衡ある国土の発展を図るため、全国工業開発計画を推進している。この一環として工業港を中心とする臨海工業地帯の建設の1つとしてトスクパンが選定されわが国にF/Sの要請がなされたものである。</p>	56	事前調査	57. 4.26~57. 5. 8	5	4,731
			57	実施調査	57. 7.19~57. 8.27	10	124,499
			"	"	57. 8. 6~57. 8.27	1	
			"	"	57.10.27~57.11.19	6	
			"	"	58. 3. 9~58. 3.21	6	

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		57年度は4月に事前調査団を派遣し、引続き現地本格調査を実施し、収集した資料に基づき整理解析を行い中間報告書を作成した。 58年度はドラフト・ファイナル・レポートの作成、説明とファイナル・レポートの作成を行った。	58	実施調査	58. 8.29~58. 9. 9	5	44,588
9	グアナファト州高速鉄道開発計画	メキシコ国家工業開発計画に基づき、工業開発が進められているグアナファト州バヒオ工業回廊において、回廊内の主要都市を結ぶ約150Kmの旅客輸送のための鉄道新線計画に関するF/Sを行うもので、57年度はコンタクト・ミッションを派遣し、要請内容を確認のうえ、事前調査を行い、S/Wを締結し4月に実施調査を開始した。 58年度は、現地調査を実施し、国内解析作業を行い、インテリム・レポートおよびドラフト・ファイナル・レポートの作成および現地協議の後、ファイナル・レポートを作成し、現地へ送付した。	57	事前調査	57. 9.17~57.10.13	5	} 6,643
			"	"	57.12. 9~57.12.19	4	
			"	実施調査	58. 4. 4~58. 6. 4	15	25,382
			58	実施調査	58. 8. 1~58. 8.13	7	} 84,254
			"	"	58.10.16~58.10.23	6	
			"	"	(調査業務実施)		33,250
10	教育施設拡充計画	学校不足解消のため日墨学院増築、小学校の新設等に係る基本設計調査を実施した。	57	特	58. 2.28~53. 3.24	5	9,186
			58	(報)	58. 6. 5~58. 6.12	3	11,429
11	経済技術協力調査	わが国の経済技術協力実績のレビュー、協力実施上の問題点について意見交換を行うとともに、昭和58年度に実施する経済技術協力案件の選定、確認を行った。	58	事前調査	58. 8.22~58. 8.28	6	2,921
12	マンサニージョ港開発計画調査	メキシコの太平洋側商港中最大の貨物取扱高を示すマンサニージョ港の港湾機能拡大を図ることを目的とし、2000年を目標とする長期整備計画の作成及び1990年を目標とする短期整備計画のF/Sを行うものである。 59年度は昭和59年5月に事前調査団を派遣しS/Wを締結し、9月より本格調査を開始した。 60年度は現地本格調査を完了し、最終報告書を作成・提出した。	59	事前調査	59. 5.28~59. 6.11	5	} 91,831
			"	実施調査	59. 9.17~59.11. 4	9	
			"	"	60. 2.25~60. 3.17	7	
			60	実施調査	60. 8.14~60. 8.28	5	56,934
13	ラサロカルデナス港船舶修繕ドック計画調査	太平洋岸のラサロカルデナス港における大型船舶修繕ドック整備計画の策定を行うものである。 昭和60年度は事前調査(コンタクト)を実施した。	60	事前調査	61. 2.23~61. 3. 6	5	4,331
14	緊急災害復旧協力チーム	震災後のメキシコの復興のため、建築、土木、通信、震災対策分野での経済・技術協力の可能性につき、関係機関と協議し、同国の中長期復興計画の策定	60	形成基礎	60. 9.30~60.10. 7	7	5,247

メキシコ



メキシコ

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
	(災害復旧プロジェクト・ファイナディング)	及び現場における緊急作業に協力を行った。					
15	経済技術協力評価調査	中南米一般を参照のこと。 (メキシコ、エクアドル、ペルー)	60	評価調査	61. 2.19~61. 3. 2	(3)	( 989)

## 海外開発計画調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	鉱工業プロジェクト選 定確認調査	(ブラジル、エクアドル、グアテマラ、メキシコ、ペルー) 中南米一般を参照のこと。	47	海	47.10.23~47.11.19	(2)	(422)
2	鉱物資源開発計画調査	太平洋岸コリマ州ペーニア、コロラダ鉄鉱山の開発に関する基礎調査を行い、 開発の可能性の調査。	38	海	39. 3.16~39. 4.29	6	5,191
			39	海		0	1,005
3	ゲレロ州硫化鉄鉱開発 計画調査	首都メキシコシティの南方、デレロ州の各所にある硫化鉄鉱床を日本の高 度な活用技術である「塩化揮発ペレット法」を適用して付加価値を高めるため のF/Sである。 昭和54年度は、事前調査を実施し、S/Wについて協議、ならびに対象予 定鉱床を現地調査、関連資料の収集を行い国内解析により本格調査対象鉱床を 選定した。 昭和55年度は2鉱床の資源調査、塩化揮発ペレット法の適合性、さらに基 本設計と概念設計を行った。 昭和56年度は、55年度に実施した現地調査結果を踏まえ、最終報告(案) の現地説明を行った後、最終報告を作成した。	54	海(事前)	55. 1.25~55. 2.22	3	13,801
			55	海(報告)	55. 8. 4~55. 8.13	1	2,717
			"	海	55.10.10~55.11.14	6	66,550
			56	海(報告)	56. 6.17~56. 6.26	1	3,640
4	ラグーナ地域綿織維工 業開発計画調査	メキシコ政府はラグーナ地域住民、綿花生産者の所得増大、雇用の拡大およ び外貨獲得を目指した綿織維一貫工場の建設を計画した。本件はこの企業化可 能性を調査することを目的とするものである。 昭和55年度は事前調査に引き続き、市場調査、原料調査、工場立地と生産能 力、技術上の検討、財務検討と社会経済的な評価を行った。	55	海(事前)	55. 6.30~55. 7.11	5	5,287
			"	海	56. 1.14~56. 2.12	9	32,999
			56	海(報告)	56. 6.24~56. 7. 3	3	13,002

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和56年度は昨年度に引き続き、国内設計作業、最終報告書案の作成、説明チームの派遣後、最終報告書を取りまとめ、業務を完了した。					
5	産業廃棄物処理開発計画	メキシコ国では、近年の急速な近代化に伴う産業廃棄物量増大のため、その処理および再利用が一層深刻化している。本調査は、化学・プラスチック・繊維・金属等工業関係の廃棄物を対象として、その再処理および有効利用にあたっての包括的システムを策定するものであり、58年度は、産業廃棄物の処理現状を調査する一方、わが国の経験、スターダスト'80の技術について概略を説明し、この分野における協力の可能性に関する意見交換を行った。	58	海(予備)	58. 5.26~58. 7. 3	4	3,541
6	中南米諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査	メキシコ国に対するわが国の技術協力のうち、鉱工業関係の開発調査を効率的に実行するため、要請プロジェクトと今後要請の可能性のある案件についてその背景と経済開発計画における位置づけ等を調査し、実施可能なプロジェクトの選定確認を行うものである。58年度は、①経済開発計画、鉱工業関係の開発計画の内容および関係プロジェクトの進捗状況、②鉱工業関係プロジェクトのうち、わが国に技術協力を要請してきている案件、③わが国が協力しうる鉱工業開発調査の選定確認、④関連資料の収集について調査した。	58	海(選定確認)	58. 8.22~58. 8.28	1	563
7	中南米地熱開発計画	中南米一般を参照のこと (ヴェネズエラ、メキシコ)	58	海(予備)	58. 7.27~58. 8.11	(6)	(4,692)
8	ラ・プリマベラ地熱開発計画	西暦2000年までに年間600億kwhの発電を行い、石油を年間1100万バレル節約しようとする計画の一環として、グワダハラ市郊外のラ・プリマベラ地域における地熱発電の技術の開発可能性を検討し、あわせて、開発計画(規模)を策定することを目的とする。 58年度は、S/W(案)の作成、サイト地の踏査、調査報告書ドラフトの作成を行った。 59年度は、第2次事前調査(S/W締結)を行い、インセプションレポートの説明等を実施した。 昭和60年度は、地質調査、地化学探査、重力探査、電気探査(MT法)並びに、メキシコ側で掘削した調査井についての坑井試験を行い、ポテンシャル評価の基礎データ収集を行った。あわせてMT機器一式の供与を行った。	58	海(事前)	59. 2.20~59. 3. 1	4	5,070
			59	海(事前)	59. 9.23~59. 9.28	1	854
			"	"	60. 1.19~60. 2.17	5	21,723
			60	海	60. 6.10~60. 9.20	11	} 269,102
			"	海(報告)	60.11.18~61. 2.26	8	

メキシコ

資源開発協力基礎調査事業

メキシコ

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 員 派遣人数	経費実績 (千円)
1	北部地区資源開発協力 基礎調査	調査対象地域は、コアウィラ州北部で、二方をUSA国境とチワワ州境で境 する面積約16,000km <sup>2</sup> の地域。50年度はS/Wの折衝、事前調査、全地域 の空中磁気探査を実施。51年度は、空中磁気探査、地上サンプリング調査、 地質調査および地化学探査を実施した。 ④ 50年度の+(3)はMMA予算	50	資	50. 7.12~50. 8. 1	1+(3)	} 21,970
			"	資	50.11.19~51. 3.31	3	
			51	資	51. 4. 1~51. 6. 7	(1)	} 197,104
			"	資	51. 4.28~52. 3.12	13+(2)	
			52	資	52. 6.15~52. 7. 3	} 16	} 145,613
			"	資	52. 8.12~52.12. 9		
53	資	53. 4.28~53.11.10	14	214,281			
2	資源開発協力基礎調査 フォローアップ調査	(グアテマラ、メキシコ) 中南米一般を参照のこと。	54	資	54. 8. 1~54. 8.15	(4)	(904)
3	パチュカ地区資源開発 協力基礎調査	同国の中央部に位置するパチュカ地区の鉱物資源賦存の可能性を調査するも の。 昭和54年度は、調査地区全域の地形図の作成、空中写真、地質判読および 地質調査を実施した。 昭和55年度は第1年次調査の結果、有望地域として抽出された面積約750 km <sup>2</sup> に対し地質調査を行った。 昭和56年度は、サンクレメンテ地区(地質調査、地化学探査)、プロビデ ンシア地区(地質調査、地化学探査、物理探査)、エルテホコテ地区(地質調 査、地化学探査、物理探査)において調査した。 昭和57年度は地質調査0.56km <sup>2</sup> およびボーリング5孔延1,500mを実施し た。	54	資	54. 7.22~54.11.18	18	} 77,282
			55	資	55. 5. 2~55. 5.11	} 12	
			"	資	55. 6.18~55.10.22		
			"	資	55. 6.27~55. 7. 2		
			"	資	55. 7.22~55. 8.12		
			"	資	55. 9.10~55.10. 5		
			56	資	55.11. 5~55.11.12	} 11	} 95,069
			"	資	56. 5.18~56. 5.29		
			"	資	56. 7.15~56.10.30		
			"	資	56. 9.16~56.11.11	} 9	} 100,283
			"	資	56.10. 2~56.10.11		
57	資	57. 5.18~57. 5.26	} 9	} 100,283			
"	資	57. 7.12~58. 1.14					
"	資	(機材供与)		5,015			
"	資	(報告書作成)		1,402			
4	資源開発調査プロジェ クト選定調査	世界一般を参照のこと。 (コロンビア、ドミニカ共和国、ザンビア、ビルマ、メキシコ)	58	資	59. 3. 4~59. 3.15	1	(1,420)
5	資源開発調査フォロー アップ調査	中南米一般を参照のこと。 (コロンビア、メキシコ)	58	資	58. 9.21~58. 9.25	3	(1,159)

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
6	ハリスコ地域資源開発 調査	ハリスコ地域において、地質調査、地化学探査、物理探査及びボーリング調査の手法を用いて異鉱型塊状硫化物鉱床の賦存状況を把握する。本年度は、S/Wについて協議署名を行うとともに、地質調査・地化学探査1,000km <sup>2</sup> 、物理探査(CSAMT法)122km <sup>2</sup> を実施した。 昭和60年度は3カ年計画の第2年次調査として地質調査、地化学探査(1000km <sup>2</sup> )、物理探査(CSAMT100km <sup>2</sup> )、ボーリング調査(5孔、1350m)を実施し、鉱床胚胎層を確認したほか、抵抗抵抗分布を把握した。	59	資	59. 8.26~60. 1.25	12	74,512
			"	"	(機材供与)		6,102
			60.	資	60. 7. 8~61. 2.28	12	105,744
			"	"	(機材供与)		5,053
"	"	(報告書作成)		1,030			
7	事前調査折衝	世界一般を参照のこと。 (ブラジル、コロンビア、メキシコ、ザンビア、ビルマ、中国、トルコ、フィリピン)	59	資	59. 6. 6~59. 6.17	4	(790)

メ  
キ  
シ  
コ

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

№	プロジェクト名	プロジェクト概要	R/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調 査 種 類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	教育施設拡充計画	メキシコ市内の3つの学校の新・増設に 必要な施設の建設及び機材の供与。	58. 7.25	6.57	57	基本設計	58. 2.28~58. 3.24	5	9,186
					58	報告書説明	58. 6. 5~58. 6.12	3	11,429
					"	実施促進	58. 9.12~58. 9.28	(1)	(444)

## 〔開発協力方式技術協力〕

## 開発基礎調査

メキシコ

プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査所派遣人数	経費実績 (千円)
ごま栽培開発協力	メキシコ国ハリス、ミチコアカン、ゲレーロの3州は農業的には畑作地帯で ごま栽培に適している。  この3州におけるごま栽培の開発の可能性を探るため、自然、社会、経済条件の調査ならびに現地路査を行い、開発適地の概定ならびに投資環境の調査を行った。	54	開発基礎 一次調査	54. 8. 13~54. 9. 1	8	7,802
		55		(国内旅費)		
バニラ果栽培開発協力	メキシコ政府は換金作物の振興による農家経営の安定の見地から、バニラ果 の生産の増大を計画しているが、バニラ果は他作物耕種と比べて高度の栽培、 醗酵および管理技術が必要でメキシコでは大規模な生産地を形成するにいたっ ていない。  本件はメキシコ国ベラクルス州ババトラン地方において、バニラ果栽培の開 発協力事業の事業計画、栽培計画、資金計画等の基本計画の策定ならびに経済 協力効果の測定を行うものである。	54		54. 2. 18~55. 3. 5	6	4,756
		55		(報告書作成)	0	194

## 投融資審査等調査

プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査所派遣人数	経費実績 (千円)
ヴェネズエラ、メキシコ投 融資審査等調査	(ヴェネズエラ、メキシコ) 中南米一般参照のこと。	55	投融資審 査等調査	56. 1. 17~56. 2. 4	(4)	(2,236)
投融資審査等調査	(メキシコ、コスタリカ、パラグアイ) 中南米一般を参照のこと。	58	投融資審 査等調査	59. 2. 12~59. 2. 27	(3)	(1,526)

ニカラグァ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	72,402	43	11,307	5	8,669	4	8,942	4	4,471	3	9,221	4	115,012	63
専門家	134,808	15	681	1	-	-	-	-	-	-	-	-	135,489	16
調査団	2,600	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,600	-
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	25,182	-	4	-	-	-	3,094	-	-	-	-	-	28,280	-
その他	1,260	-	127	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,387	-
合計	236,252	-	12,119	-	8,669	-	12,036	-	4,471	-	9,221	-	282,768	-

ニカラグァ

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費計 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員	63	1	-	-	8	-	26	2	3	1	5	4	-	4	4	-	2	1	1	1	-	115,012
専門家	16	-	-	-	-	-	2	1	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	135,489
調査団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,600
協力隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機材供与	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28,280
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,387
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	282,768

2. 事業別実績  
 [一般の技術協力]  
 研修員受入事業

ニカラグア

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
39年度	1							1														
40 "																						
41 "	1						1															478
42 "																						
43 "																						
44 "	1																1					579
45 "	5						1	1				1			2							3,255
46 "	5				1		2					1					1					5,389
47 "	3	1					1								1							1,342
48 "	3						1						1		1							3,640
49 "	3						2				1											3,198
50 "	(1) 4				2	(1) 1	1				1											7,063
51 "	6				2	4																15,548
52 "	3				1	1								1								10,451
53 "	8				1	1					3			3								19,594
54 "																						1,365
55 "																						
56 "	5					3												1	1			11,307
57 "	4					2		1										1				8,669
58 "	4					2		1	1													8,942
59 "	3					2		1														4,471
60 "	4				1	2						1										9,221
合計	(1) 63	1			8	(1) 26	2	3	1	5	4		4	4		2	1	1	1			115,012

(注) カッコは国際機関研修員で外数である。

専門家派遣事業

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化					
45年度	4										4												
48 "	2										2												5,286
49 "																							19,554
50 "																							26,158
51 "	4										4												19,098
52 "	3						2	1															27,288
53 "																							32,298
54 "																							13,396
55 "																							
56 "																							9
57 "																							
58 "																							
59 "																							
合計	13						2	1			10												143,087

ニカラグア



〔プロジェクト方式技術協力〕

保健医療協力事業（大学教授）

ニカラグア

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
衛生学		52					1	1,288		86	1,374	
内科学		52					1	1,053		86	1,139	
消化器内視鏡		56					1	672		4	676	

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
国立精神病院		58								3,094	3,094	

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	開発調査プロジェクト 選定確認調査	(コロンビア、ニカラグア、パナマ、ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	事前調査	51. 2. 25~51. 3. 18	(2)	(813)

ニカラグア

## 資源開発協力基礎調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	資源開発協力基礎調査 プロジェクト選定確認 調査	(ホンジュラス、ニカラグア) 中南米一般を参照のこと。	51	資	51. 10. 3~51. 10. 25	(3)	(1,788)

パナマ

1. 総括実績

(1) 形態別・年度別

形態	29~55		56		57		58		59		60		累計	
	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)	経費 (千円)	人数 (人)
研修員	150,786	114	85,159	40	58,716	30	79,169	42	91,188	39	98,674	42	563,692	307
専門家	124,882	13	108,242	19	160,957	15	229,275	14	294,911	16	388,669	15	1,306,936	92
調査団	573,789	81	431,220	38	430,420	46	482,913	69	298,760	64	63,449	41	2,280,551	339
協力隊	-		-		-		-		-		-		-	
機材供与	39,788		269,585		243,867		270,807		131,004		311,205		1,266,256	
その他	13,446		9,320		10,275		13,415		13,335		10,517		70,308	
合計	902,691		903,526		904,235		1,075,579		829,198		872,514		5,487,743	

(2) 形態別・分野別

形態	分野 人数 計 (人)	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 累計 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸 交通	社会 基盤	通信 放送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商業 貿易	観 光	人的 資源	科学 文化				
研修員	307	7	16	1	38	24	87	12		4	13	16	14	2	11	3	20	2	27	10		563,692
専門家	92	1		1		4	42	4			3	5	5	1			26					1,306,936
調査団	339				134	42	55			54	28	5		5			13		3			2,280,551
協力隊																						-
機材供与																						1,266,256
その他																						70,308
合計																						5,487,743

2. 事業別実績

〔一般の技術協力〕

研修員受入事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
38年度	3							3														1,047
39 "	3							3														10
40 "	1	1																				562
41 "	4					1	1	1			1											3,687
42 "																						
43 "																						
44 "	2						1				1											2,355
45 "	3						1	1			1											2,754
46 "	3						2				1											3,648
47 "	1						1															642
48 "	5		1			1	1								1		1					7,312
49 "	6				1	1	2										2					8,199
50 "	4						1										2		1			6,538
51 "	12			1	1		6				1	1			1			1				19,406
52 "	11		2		1		2					2			2			2				13,606
53 "	11		1		2		3					1		1	1			2				18,690
54 "	17	1	1		1	4	4					1		1				4				25,517
55 "	28		2		4	5	7					6			1			3				36,813
56 "	40		3		9	1	12					4			1		1	4	5			85,159
57 "	30	1	1		4	1	8			1	2				1	1	6	2	2			58,716
58 "	42	1	1		6	2	13	2			3	1	3		1	1	4	1	2	1		79,169
59 "	59		3		5	4	11	2		2	3		2		1	1	3	2				91,188
60 "	42	3	1		4	4	11			1		1	8		1		2	4	2			98,674
合計	307	7	16	1	38	24	87	12		4	13	16	14	2	11	3	20	2	27	10		563,692

パ  
ナ  
マ

専門家派遣事業

パ  
ナ  
マ

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)	
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化					
41年度	1							1															3,387
42 "																							
43 "																							
44 "																							
45 "																							
46 "																							
47 "	3						3																198
48 "	2						1				1												9,650
49 "																							15,602
50 "																							5,165
51 "																							1,096
52 "	1						1																9,517
53 "	1						1																13,348
54 "	4						2					2											31,948
55 "																							52,083
56 "	3						2					1											93,176
57 "	3					1						1	1										83,027
58 "	5						1					1	3										93,298
59 "	9					2	5					1	1										158,238
60 "	(12) 9			1 (12)	1	2	2	3			2												197,919
合計	(12) 41			1 (12)	4	18	4			3	5	5	1										767,652

(注) カッコは国際機関専門家で外数である。

青年海外協力隊派遣事業

分野 年度	合 計 人 数	計画・行政		公共・公益事業				農 林・水 産				鉱 工 業		エ ネ ル ギ ー	商業・観光		人的資源		保 健 医 療	社 会 福 祉	そ の 他	経 費  (千円)
		開 発 計 画	行 政	公 益 事 業	運 輸 交 通	社 会 基 盤	通 信 ・ 放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工 業		商 業 ・ 貿 易	観 光	人 的 資 源	科 学 ・ 文 化				
57年度																						577
58 "																						
59 "																						
合 計																						577

パ  
ナ  
マ

〔一般の技術協力に係る機材供与〕  
単独機材供与事業

№	機 材 名	機 材 供 与 先	年度	機材供与経費 (千円)
1	教育テレビ機材	文 部 省	52	15,836
2	消化器検査機材	国立サント・トマス病院	54	4,419
3	鉱物試験用機材	鉱物資源局鉱物試験所	56	6,960
	(同上57年度支出分)		57	8,937
4	鉱物試験用機材	商 工 省	57	21,813
5	植物病理学研究用機材	農牧研究所	58	38,189
6	測量用機材	集団研修コース	59	3,067
7	がんセンター研究用機材	サント・トマス病院がんセンター	60	30,313
8	再植林用機材	農牧開発、天然資源局	60	10,255
	(文献技術情報供与)			
1	技術文献 (86冊)		58	1,078
2	技術文献 (7冊)		60	49
計	8 件			140,916

〔プロジェクト方式技術協力〕

技術協力センター事業

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人 数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)		
							継 続	新 規					
パ ナ マ  国営教育テレビ放送計 画 The Panama National Educational Television Broadcasting Project 協定等の種類：R/D 署名年月日：56. 2. 11 協力期間 (当初) 56.2.11~61.2.10 相手国機関： 文部省パナマ国立大 学付属教育テレビ放 送実験局 国内協力機関： 郵政省、NHK	パナマ国の開発5カ年計画において重点 が置かれている教育普及政策の一環として 国営教育テレビ放送の設立が計画されたが 技術者と機材の不足により計画が遅れ勝ち であったところ、わが国に同放送に対する 建設と技術協力を要請してきた。同要請に 対し昭和48年3月に調査団を派遣し、そ の後、個別専門家の派遣を通じて同計画に 協力して来たが、昭和56年1月に実施協 議チームを派遣しR/Dを締結した。 これにより5年間にわたるプロジェクト 方式の技術協力が開始されることとなった。 協力の内容は、(1)教育テレビ番組制作、 (2)テレビ番組制作技術、(3)テレビ送信技術、 (4)特殊専門技術に対する協力である。 この協力により首都パナマ市とその周辺 地域をカバーする放送局を整備し、在宅児 童と青少年、成人向けの教育番組を含む広 義の教育放送を実施することが可能となり 地域住民の教育、文化水準の向上を図ると ともに、今後、国営教育テレビ放送の発展 の基礎作りに貢献することとなった。 送信機システムの据付は、昭和57年1 月に完了。スタジオ機器はパナマ側の準備 工事の遅滞により、計画より遅れていたが 昭和58年1月、据付工事が完了し、同年 4月より新スタジオを用いての本格的訓練	55	事前調査	55. 6. 13~ 55. 7. 4	5	⑤ 1,868 5,052	-	-	-	-	-	11,830	
		"	実施協議	56. 1. 27~ 56. 2. 15	5	4,910	-	-	-	-	-		-
		56					⑤ 93 ⑥ 110	-	6	28,020	スタジオカメラ、 ビデオ、送信機 器等放送設備	⑤ 5,913 233,216	267,352
		57	計画打合	58. 3. 11~ 58. 3. 21	4	3,504	4	7	73,484	ビデオ装置、中 継車、モニター 装置、スタジオ システム他	143,898	220,886	
		58	巡回指導	59. 2. 17~ 59. 2. 29	4	4,605	4	6	89,092	番組送出用STL 一式、野外訓練 用中継車一式他	⑤ 6,374 102,460	202,531	
		59	同上 報告書作成				4	3	80,007	照明設備、VTR 予備品、コンデ ンサー予備品他	⑤ 3,358 19,198	106,891	
60	巡回指導	59.12. 3~ 59.12.15	4	4,328									
	機材修理	60. 9. 4~ 60. 9. 15	3	3,778	4	2	68,416	スタジオ用機器 測定器	⑤ 1,340 13,995	87,529			

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)									
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数	経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)										
							継 続	新 規												
	に入り、中継車による野外訓練も実施。昭和61年2月R/D期間満了により終了。スタジオ技術及び送信技術について、個別派遣専門家によるフォローアップを実施している。 〔カウンターパート受入実績〕 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	60	人数	1	2	2	3									
年度	57	58	59	60																
人数	1	2	2	3																
職業訓練センター Panama-Japan Vocational Training Centre 協定等の種類：R/D 署名年月日：57.8.26 協力期間： (当初) 57.8.26～62.8.25 相手国機関： 労働社会福祉省 職業訓練庁 国内協力機関： 労働省	パナマ国では運河の維持管理および国内建設ブームによる技能者需要の急増への対策が急務となっているが、一方、大量の未熟練労働者を抱えているので、こうした現状打開、ひいては国内産業発展のため、昭和55年2月にロヨ大統領が訪日した際、当時の大平首相に対し、パナマ国労働社会福祉省の行っている職業訓練校への技術協力を要請してきた。	56				212	-	10	10,087		④ 455	10,754								
	この協力要請に対し、わが国は昭和56年12月に予備調査チームを、昭和57年3月には事前調査チーム(専門家チーム)を派遣し、協力の可能性につき調査した。昭和57年8月には上記調査結果を踏まえ、実施協議チームを派遣し、協力の具体的な内容に係る協議を行った結果、R/Dに署名が行われ、5カ年の協力が開始されることとなった。	57	実施協議	57. 8.16～ 57. 8.30	3	3,716	6	5	10,715	シーケンス制御 実験装置	59,425	73,856								
		58	計画打合せ	59. 2.15～ 59. 2.26		2,820	1	3	54,258	視聴覚ビデオシ ステム、冷凍空 調訓練用機器 他	④ 4,787 110,546	172,411								
		59	同上 報告書作成			3,205	4	4	96,635	四輪駆動車、 マイクロス、ビ デオシステム他	④ 9,045 56,147	165,032								
		60	巡回指導	59.10.21～ 59.11. 2	3															
		60	計画打合	60.10.23～ 60.11. 2	4	4,110			141,642	溶接機、自動 車整備用機器、 アーク溶接機	④ 5,102 230,843	381,697								

パ  
ナ  
マ



パ  
ナ  
マ

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)							
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)								
							継続	新規											
	<p>本件プロジェクトの協力の分野は次のとおりである。</p> <p>1. 溶接 2. 自動車整備 3. 電気 4. 電子 5. 冷凍および空調</p> <p>本プロジェクトは、既存のセンター施設を整備しつつ訓練を開始していく計画で、電気機器及び電子機器科は昭和58年12月12日、冷凍・空調科は昭和60年2月25日訓練開始。建物の未完成により開始が遅れていた溶接は昭和61年7月、自動車整備科・板金塗装科は昭和61年12月に開講した。</p> <p>〔カウンターパート受入実績〕</p> <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>57</td> <td>58</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>	年度	57	58	59	人数	2	3	3										
年度	57	58	59																
人数	2	3	3																

保健医療協力事業(単 発)

プロジェクト名	概 要	年 度	調 査 団				専 門 家			機 材 供 与		経費総額 (千円)
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名	経 費 (千円)	
							継続	新規				
基本設計調査		55					-	1	786			786

保健医療協力事業（大学教授）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
内 視 鏡	(パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50					(1)	(468)		⑤ (34)	(502)	
病 理 学	(パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50					(1)	(468)		⑤ (34)	(502)	
消化器内科	(ボリビア, パナマ, コスタ・リカ) 中南米一般を参照のこと。	54					(1)	(529)			(529)	
		55					(1)	(107)			(107)	

パ  
ナ  
マ

保健医療協力事業（特別機材）

プロジェクト名	概要	年 度	調 査 団				専 門 家		機 材 供 与		経費総額 (千円)	
			調査の 種 類	調査期間	人数	経 費 (千円)	人 数		経 費 (千円)	主要機材名		経 費 (千円)
							継続	新規				
国立サント・トーマス 病院		57							内 視 鏡	3,525	3,525	

農林業協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
農林業協力(水産)プロジェクト・ファインディング	(エクアドル, パナマ, コスタ・リカ) 中南米一般を参照のこと。	59	事前調査	59.10.20~ 59.11.9	(3)	(671)					(671)	

産業開発協力事業

プロジェクト名	概要	年 度	調査団				専門家		機材供与		経費総額 (千円)	
			調査の 種類	調査期間	人数	経費 (千円)	人数		経費 (千円)	主要機材名		経費 (千円)
							継続	新規				
鉱物冶金研究	ポーヒリ, カッパーの鉱山であるセロ・コロラドの開発に向け選鉱・精錬及び分析等の技術につきパイロット・プラントを通じて技術指導を得たいとするパナマ側の要請に応じ, 要請の背景, 要請内容, 先方の実施体制につき調査を実施した。	59	事前調査	59.10.23~ 59.11.2	5	⑤ 18 4,579	-	-	220	-	4,817	

## 〔開発調査方式技術協力〕

## 開発調査事業

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	開発調査プロジェクト 選定確認調査	(コロンビア, ニカラグア, パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	事前調査	51. 2. 25~51. 3. 18	(2)	(815)
2	カリブ沿岸地区地図作 成調査	パナマ国はその中央を2~3,000mの山脈(CORDIELLA CENTRAL) が横断し, 南北100kmの国土を2分しており, 開発はこれまでパンアメリカン ハイウェイのある太平洋沿岸域(コスタ・リカ国境~パナマ市間)のみに集中 し, 森林資源等の豊富なカリブ海沿岸地区の開発は未着手の状況であった。こ の地区の開発のため同国政府は水力発電所, 縦貫道路, 銅山開発, 農牧業開発, 林業開発等各種プロジェクト推進のため基礎資料たるべきカリブ海沿岸地区の 基本図作成について援助要請を行ってきたものである。 昭和53年度は事前調査に引き続き, 第1次作業として空中写真撮影(約 8,000km <sup>2</sup> , 縮尺:6万分の1), 基準点測量作図(9点)を実施した。昭和53 年度に基準点測量(JMR)と航空写真の撮影, 昭和54年度に基準点測量と 残り部分の撮影など現地調査と空中三角測量を実施した。昭和55年度は図化 現地補備測量, 製図, 印刷を実施し, 3カ年にわたった同地図作成の事事(1/ 50,000地形図=12面)は終了した。	53	事前調査	53. 6. 10~53. 7. 29	11	20,000
			54	実施調査	54. 1. 27~54. 4. 18	14	63,347
			54	実施調査	54. 8. 29~54. 12. 27	14	172,877
			54	実施調査	(地図作成)	0	74,707
			55	実施調査	55. 10. 3~55. 10. 20	3	106,809
			56	実施調査	(地図作成)	0	4,295
3	首都圏都市交通整備計 画調査	同政府の要請に基づきパナマ首都圏の都市交通の改善計画を作成するもので ある。55年度は事前調査団を派遣し, 同結果に基づきマスター・プラン作成 のための本格調査を実施した。57年度も56年に引き続き, 現地本格調査を 実施し, 最終報告書を取りまとめた。	55	事前調査	55. 8. 6~55. 8. 20	5	4,932
			56	実施調査	56. 1. 28~56. 4. 30	16	42,583
			56	事前調査	(報告書送付)	0	217
			56	実施調査	(報告書送付)	0	56,687
			56	実施調査	56. 4. 15~57. 3. 20	26	216,930
			57	実施調査	57. 5. 13~57. 8. 12	7	23,602
			57	実施調査	57. 6. 1~57. 7. 30	2	87,431
57	実施調査	57. 9. 15~57. 10. 29	6				
4	大西洋岸漁業資源調査	同国の漁業は従来, 太平洋岸のエビ漁業に限られていたが, 同国政府は大西 洋岸の漁業開発にも大きな関心を持ち, 55年3月訪日したロヨ大統領と大平 総理大臣との間の「共同コミュニケ」において同水域の水産資源の調査を行う ことが合意された。これに基づき55年12月に事前調査(陸上調査)団を派 遣し調査の大綱を取りまとめた。	55	事前調査	55. 12. 3~55. 12. 20	5	5,902
			56	事前調査	(報告書作成)	0	624
			56	実施調査	56. 6. 19~56. 7. 3	3	142,932
			56	実施調査	56. 9. 20~56. 10. 3	3	
			56	実施調査	56. 10. 15~57. 3. 20	3	

パ  
ナ  
マ

№	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
		昭和56年度にはS/Wを締結し、海上調査を実施した。57年度、58年度も引き続き海上調査を実施し、さらに58年度は今までの調査結果を取りまとめて最終報告書を作成し、パナマ政府にその内容につき、説明を行った。	57	実施調査	57. 6. 4~58. 3. 19	6	227,282
			"		(資機材購送)		18,779
			58	実施調査	58. 6. 21~58. 10. 29 58. 8. 25~58. 9. 4 59. 3. 18~59. 3. 26	3 2 3	} 115,099
			"	"	報告書作成		
			59	"	調査業務実施		5,810
5	林業資源調査	同国は、カリブ海沿岸のコロン県ドノン地区ミケル・デ・ラ・ボルダ流域の森林開発計画の樹立をわが国に要請した。これを受け、昭和57年3月に事前調査団を派遣し協力の可能性を調査した。この結果、同流域を中心とした約15万haについて空中写真撮影、図化、森林調査、森林開発計画の樹立を含む林業資源調査を行うことが妥当と判断された。  57年度はS/Wの締結に続き、58年度にわたって航空写真撮影、地帯界調査および森林予備調査を行い、業務を完了し、59年度は開発計画の立案、検討を行い、調査結果をとりまとめ最終報告書を作成した。	56	林業資源	57. 3. 29~57. 4. 18	4	} 6,694
			"	"	57. 4. 5~57. 4. 18	1	
			57	林業資源	57. 9. 17~57. 10. 2	5	} 56,398
			"	"	57. 12. 11~57. 12. 24	1	
			"	"	58. 2. 3~58. 3. 24	12	
			"	"	(報告書作成費)		496
			58	林業資源	59. 1. 10~59. 3. 29	11	82,448
			"	"	調査業務実施		57,169
			59	林業資源	59. 8. 8~59. 9. 26	9	} 122,285
"	"	59. 12. 1~59. 12. 25	7				
"	"	60. 2. 23~60. 3. 4	3				
6	短波放送施設建設計画	パナマ国の短波放送施設建設計画についてF/Sを実施するもので、57年度から58年度にかけて事前調査団を派遣し、S/Wを締結するとともに、対象地域の踏査、所要資料の収集を行った。  59年度は現地調査を実施するとともに、国内解析を行い、ドラフト・ファイナル・レポートを作成、提出した。	57	事前調査	58. 4. 2~58. 4. 11	8	6,534
			58	事前調査	58. 11. 13~58. 11. 25	6	5,543
			59	実施調査	59. 6. 16~59. 7. 30	11	} 52,986
			"	"	60. 1. 27~60. 2. 9	7	
7	首都圏都市交通整備計画	昭和57年度に終了したマスタープランに引き続き、パナマ首都圏における都市整備計画についてF/Sを実施するものである。58年度はインセプション・レポートの作成からインテリム・レポートの作成まで実施した。調査は、パナマ首都圏の道路ネットワークおよび付帯施設の整備計画、すなわち首都圏北側のバイパスの新設、東西方向を結ぶ幹線道路の拡幅とアクセス道路の新設、	58	実施調査	58. 5. 31~59. 3. 16	26	212,238
			59	実施調査	59. 5. 19~59. 9. 15	15	96,934

順	プロジェクト名	概要	年度	調査の種類	調査期間	調査団派遣人数	経費実績 (千円)
		これらを受ける西側幹線道路の拡幅と立体交差点改良、また路線の再編成を考慮に入れたバスターミナル、バス修理センターの設立について実施し、昭和59年度に調査を終了し、最終報告書を作成、パナマ政府に提出した。					
8	経済技術協力評価調査	中南米一般を参照のこと。 (ボリビア、パナマ)	59	評価調査	60. 1. 2~60. 1. 25	(4)	(3,655)
9	パナマ市南部回廊開発計画調査	パナマ市首都圏都市交通整備計画(M/P)に基づき、南部回廊開発計画にかかるF/Sを実施するものであり、昭和60年度は事前調査を実施した。	60	事前調査	60. 6. 18~60. 7. 1	1	8,016
			"	"	60. 2. 14~61. 2. 26	6	
10	パナマ運河代替案調査	本件調査実施のために、昭和60年10月に事業団企画部に特別調査室を設置し、本格調査開始のための事前準備として、 ① 調査運営等にかかる日米パ政府の非公式会合への出席 ② 現行パナマ運河の現状調査 ③ パナマのコンサルタント事情調査 ④ 米国内の運河関連施設(実験施設、米国内最新式の閘門施設、港湾等)調査 ⑤ 米国が過去に行ったパナマ運河代替案調査関連のアンダーソン調査に関するヒアリング及び資料収集 ⑥ 世銀、米州開発銀行からのパナマ経済等に関するヒアリング等を実施した。 また、日米パ三国による調査委員会開設のため、昭和61年1月に4名の長期専門家を派遣した(派遣事業費による)。	60	事前調査	60. 10. 16~60. 11. 6	10	37,130
			"	"	60. 12. 9~60. 12. 16	3	
			"	"	60. 1. 18~60. 1. 26	2	
			"	"	61. 3. 19~61. 3. 30	7	

パ  
ナ  
マ

海外開発計画調査事業

No	プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	中南米鉱工業プロジェクト選定確認調査	④(エル・サルヴァドル, ホンジュラス, パナマ, ヴェネズエラ) 中南米一般を参照のこと。	50	海(事前)	51. 3. 6~51. 3. 26	(2)	(561)
2	石炭火力発電開発計画	コロン県(テルフェース・アイランドまたはパイヤ・ラス・ミナス)において, 外国炭を輸入し, 150MW程度の石炭火力発電所を建設する計画である。 昭和60年度は, パナマ側と本件のF/Sを昭和61年6月より9カ月間で実施すること等を取り極めるとともに, 候補地の踏査を行った。	60	海	61. 1. 8~61. 1. 18	5	8,168

〔無償資金協力〕  
無償資金協力事業

No	プロジェクト名	プロジェクト概要	E/N署名日	金 額 (億円)	調査 年度	調 査 種 類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
1	サント・トマス国立病院 ガンセンター医療機材整備計画	同センターの施設の拡充に伴う医療機材の 供与。	55. 7. 4	5	55	事前調査	55. 6. 1~55. 6. 9	3	3,844
					56	実施促進	57. 3. 7~57. 3. 20	(3)	(1,256)

〔開発協力方式技術協力〕

開発基礎調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
ベタキージャ銅鉱山開発関 連施設整備計画調査	本調査は、パナマ共和国コクレ県ベタキージャ銅鉱山の開発に関連して必要となる道路および送電施設が適正に整備されることにより、開発事業の円滑な推進に資するとともに周辺地域住民の福祉向上、地域経済の発展に寄与するように、関連施設整備計画につき、技術的、経済的な検討ならびに提言を行うものである。	54	関連施設 整備調査	54. 12. 1~55. 1. 22	9	58,172
		55		(技術費・報告書作成)		7,350

パ  
ナ  
マ

投融資審査等調査

プロジェクト名	概 要	年 度	調査の種類	調 査 期 間	調 査 団 派遣人数	経費実績 (千円)
中南米投融資審査等調査	(パナマ、ブラジル) 中南米一般を参照のこと。	59	投融資審 査等調査	59. 12. 8~59. 12. 22	(4)	(3,151)